



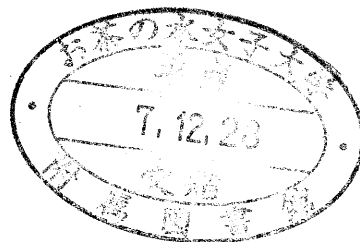
# お茶の水女子大学学报

平成 7 年 11 月 1 日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目 次

- ◇関係法令 ..... 2
- ◇学内規則 ..... 3
  - お茶の水女子大学における建設工事に係る  
競争参加等資格に関する規則 ..... 3
- ◇学 事 ..... 6
  - 平成 8 年度お茶の水女子大学  
学生募集要項 ..... 6
  - 平成 8 年度お茶の水女子大学  
私費外国人留学生（学部留学生）  
特別選抜学生募集要項 ..... 34
  - 平成 8 年度お茶の水女子大学大学院  
理学研究科（修士課程）  
第 2 次学生募集要項 ..... 44
  - 平成 8 年度お茶の水女子大学大学院  
人文科学研究科（修士課程）  
学生募集要項 ..... 52
  - 平成 7 年 9 月卒業式及び学位授与に  
ついて ..... 59
- ◇人 事 ..... 60

- ◇諸 報
  - 研 修 ..... 73
  - レクリエーション行事 ..... 75
  - 海外渡航 ..... 76
- ◇日 誌 ..... 78



## 関係法令

### 【法律】

- 一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律〔法律第116号〕  
（官報 7.10.25号外特第27号）  
「人事院勧告（学報第166号）参照のとおり改正された。」

### 【政令】

- 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の一部を改正する法律の施行期日を定める政令〔政令第355号〕  
（官報 7.9.18 第1732号）  
「施行期日を平成7年9月30日とした。」
- 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行令の一部を改正する政令〔政令第356号〕（官報 7.9.18 第1732号）  
「測定、教育訓練及び放射線取扱主任者の選任の義務が免除される機器として法律第12条の4の規定により表示が付されているガスクロマトグラフ用エレクトロン・キャプチャ・ディテクタを定めた等。」

### 【府令】

- 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則の一部を改正する総理府令〔総理府令第45号〕（官報 7.9.25 号外 183号）  
「政令第356号改正の関連」

### 【省令】

### 【規則】

- 人事院規則16-3（災害を受けた職員の福祉施設）の一部を改正する規則〔人事院規則16-3-23〕（官報 7.9.29 号外 187号）  
「題名を「災害を受けた職員の福祉事業」に、ホームヘルプサービス及び介護用機器の貸付けに関する規定を加えた。」
- 人事院規則16-4（災害を受けた職員の福祉施設の実施）の一部を改正する規則〔人事院規則16-4-13〕（官報 7.9.29 号外 187号）  
「人事院規則16-3の改正に伴う改正」
- 人事院規則9-6（俸給の調整額）の一部を改正する規則  
〔人事院規則9-6-25〕（官報 7.10.25号外特27号）
- 人事院規則9-8（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する規則  
〔人事院規則9-8-26〕（官報 7.10.25号外特27号）
- 人事院規則9-24（通勤手当）の一部を改正する規則  
〔人事院規則9-24-8〕（官報 7.10.25号外特27号）

- 人事院規則 9 - 3 4 (初任給調整手当)の一部を改正する規則  
〔人事院規則9-34-11〕(官報 7.10.25号外特27号)
  - 人事院規則 9 - 4 9 (調整手当)等の一部を改正する規則  
〔人事院規則9-49-7〕(官報 7.10.25号外特27号)
  - 人事院規則 9 - 5 4 (住居手当)の一部を改正する規則  
〔人事院規則9-54-1〕(官報 7.10.25号外特27号)
  - 給与法別表第一イの備考(2)等の規定の適用を受ける職員  
〔人事院規則9-99〕(官報 7.10.25号外特27号)
  - 平成7年改正法附則第3項の規定による最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え等〔人事院規則9-100〕(官報 7.10.25号外特27号)
- 以上「平成7年給与法改正に伴う関係規則の改正」

### 【告 示】

- 平成8年度科学研究費補助金の各種目の計画調書の提出期間を定める件  
〔文部省告示第114号〕(官報 7.9.1 第1722号)
- 学校教員統計調査規則の規定に基づき、調査の範囲、調査実施の年度等を定める件〔文部省告示第117号〕(官報 7.9.20 第1734号)
- 放射線同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則の一部を改正する総理府令の施行に伴う関連告示の改正  
〔科学技術庁告示第4号～第7号〕(官報 7.9.29 号外 187号)
- 大学入学に関し高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定の一部を改正する件  
〔文部省告示第119号〕(官報 7.10.3 第1743号)
- 大学入学に関し専修学校高等課程について文部大臣が個別に指定した件
- 同上の名称の変更、廃止等についての告示  
〔文部省告示第122号～第127号〕(官報 7.10.23第1756号)

## 学 内 規 則

- お茶の水女子大学における建設工事に係る競争参加等資格に関する取扱要項〔規則第16号〕  
「公共事業の入札・契約手続の改善に関する行動計画において示された基準額以上の工事について一般競争入札方式を採用するとともに、基準額未満未満の工事について指名競争入札方式による場合についても透明性・客観性を高める措置を講ずることとされ、本学においても建設工事に係る一般競争及び事前に技術的適性等の審査を行う指名競争入札を実施するに当たり、事務手続の一層の透明性・公正性を確保するためこの要項を制定した。」

○平成7年お茶の水女子大学規則第16号

お茶の水女子大学における建設工事に係る競争参加資格等審査に関する取扱要項を次のとおり定める。

平成7年9月4日

お茶の水女子大学長 太田次郎

お茶の水女子大学における建設工事に係る競争参加資格等審査に関する取扱要項

1 趣 旨

この要項は、お茶の水女子大学（以下「本学」という。）において建設工事に係る一般競争及び事前に技術的適性等の審査を行う指名競争入札を実施するため必要な事項を定めるものとする。

2 審査委員会の設置

建設工事に係る一般競争及び事前に技術的適性等の審査を行う指名競争入札を公正かつ厳正に実施するため、本学にお茶の水女子大学競争参加資格等審査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

3 審議事項

委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 一般競争入札における競争参加資格の決定等基本的な事項
- 二 一般競争入札における競争参加希望者の競争参加資格の有無に関する事項
- 三 事前に技術的適性等の審査を行う指名競争に付そうとする場合における当該審査に基づく資格の有無の確認に関する事項
- 四 前号の審査結果に対する再苦情に関する事項

4 委員会の組織

(1) 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 会計課長
- 二 施設課長
- 三 会計課課長補佐
- 四 施設課課長補佐

(2) 委員会に委員長を置き、施設課長をもって充てる。

(3) 委員長は委員会を召集し、その議長となる。

(4) 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め意見を聴くことができる。

5 事 務

委員会の事務は、施設課において処理する。

附 則

この要項は、平成7年9月4日から実施する。

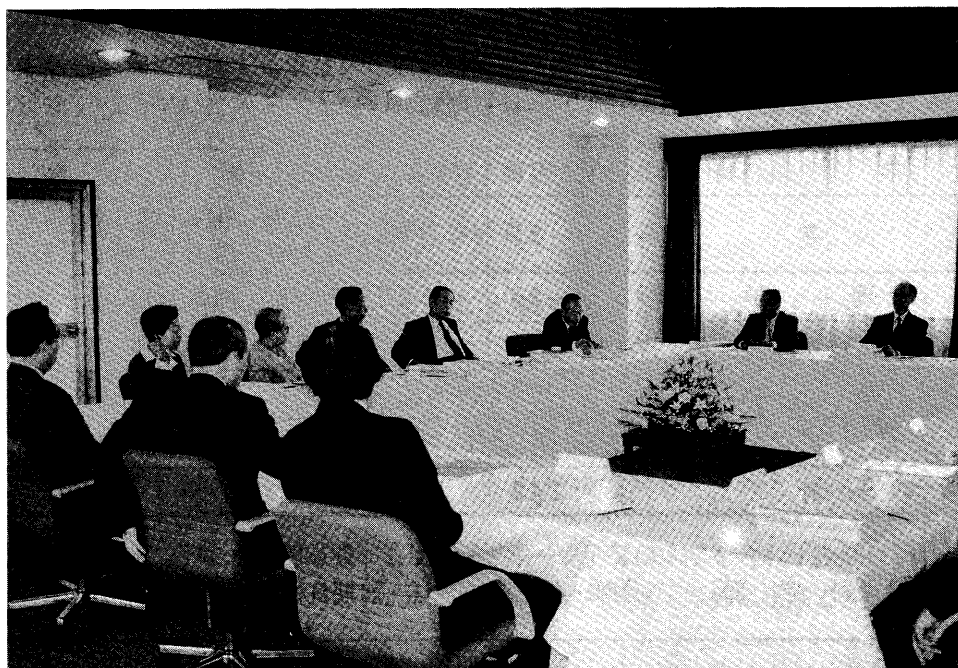
### 第3回「お茶の水女子大学の現状と課題」懇談会の開催について

平成7年9月22日（金）に本学人間文化研究科会議室において第3回「お茶の水女子大学の現状と課題」懇談会を開催した。

この懇談会は、国立の女子大学である本学の在り方等について広く学外有識者との意見交換を目的としているものであり、平成5年度から年1回開催し、第3回目の今回は宮本日本女子大学長、井内放送大学教育振興会長ら学外有識者8人、大学側からは太田学長、各学部長ら9人が出席した。

学長から本学の現況及び教育研究組織の見直し等について説明があり、その後、活発な意見交換等が行われた。

また、出席者に対し懇談会に先立ち創立120周年記念事業の一環として行う「収蔵品の展示」予定の一部を公開した。



「お茶の水女子大学の現状と課題」懇談会

# 学 事

## ○平成8年度お茶の水女子大学学生募集要項

### 1 学部・学科別募集人員

〔文 教 育 学 部〕 連続方式 ( A 日程 )

学 科		入学定員	募集人員	備 考
哲	学 科	24	24	
史	学 科	23	23	
地	理 学 科	22	17	別募集 推薦入学 5名
国	文 学 科	35	27	別募集 推薦入学 8名
外 国 文学科	中国文学・中国語学	12	8	別募集 推薦入学 4名
	英文学・英語学	37	37	
	仏文学・仏語学	8	8	
教 育 学 科	教 育 学	23	23	
	心 理 学	17	17	
舞 踊 教 育 学 科	舞 踊 教 育 学	18	18	
	音 楽 教 育 学	13	13	
計		232	215	

〔理 学 部〕 連続方式 ( A 日程 )

学 科		入学定員	募集人員	備 考
数	学 科	25	18	別募集 推薦入学 6名 別募集 帰国子女特別選抜若干名
物	理 学 科	25	20	別募集 推薦入学 5名
化	学 科	25	20	別募集 推薦入学 5名
生	物 学 科	27	20	別募集 推薦入学 7名
情 報 科 学 科		40	32	別募集 推薦入学 8名
計		142	110	

〔生 活 科 学 部〕 分離・分割方式 ( 前期日程・後期日程 )

学 科	入学定員	募 集 人 員		備 考
		前期日程	後期日程	
生 活 環 境 学 科	70	46	12	別募集 推薦入学12名
人 間 生 活 学 科	76	50	12	別募集 推薦入学14名
計		146	24	

## 2 出願資格

下記のいずれかに該当する女子で、かつ、平成8年度大学入試センター試験を受験した者

- (1) 高等学校を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成8年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第69条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成8年3月31日までにこれに該当する見込みの者

## 3 出願手続

### (1) 出願方法

出願書類を一括して、本学所定の封筒を用い書留速達で下記あてに郵送すること。

文教育学部志願者 …………… 文教育学部事務部  
 理学部志願者 …………… 理学部事務部  
 生活科学部志願者 …………… 生活科学部事務部

封筒下欄の志願者欄に第1志望学科及び専攻名等を明記すること。

また、文教育学部及び生活科学部志願者のうち次に該当する者は、本学の個別学力検査で受験を希望する学力検査科目区分のA・Bいずれかに○をつけること。

文教育学部                      地理学科、教育学科（心理学）、舞踊教育学科  
 生活科学部                      人間生活学科

### (2) 本学各学部別の出願について

- ① 文教育学部の入学志願者は、同一学部内に限り第2志望まで出願できる。ただし、学力検査科目区分のB（数学）を選択した者は、第1志望、第2志望とも地理学科、教育学科（心理学）及び舞踊教育学科の範囲内に限る。
- ② 理学部に志願する者の志望学科は1つの学科に限る。
- ③ 生活科学部に志願する者は、「前期日程」又は「後期日程」のいずれであっても志望する学科は1つの学科に限る。なお、「前期日程」と「後期日程」で志望する学科が異なっても差し支えない。

### (3) 本学出願者の他の国公立大学への出願について

学 部 名	選 抜 方 法	他に出願できる国公立大学・学部
文教育学部 理 学 部	連 続 方 式 〔A 日 程〕	「B日程グループ」又は本学を含む「後期日程グループ」に属する大学・学部に出願できる。
生活科学部	分離・分割方式 〔前期日程〕	「B日程グループ」又は本学を含む「後期日程グループ」に属する大学・学部に出願できる。
	分離・分割方式 〔後期日程〕	本学を含む「A日程グループ」又は「前期日程グループ」に属する大学・学部に出願できる。

(注) 「B日程グループ」には、私立産業医科大学を含む。

(4) 出願書類等

1	出願カード (志願者名票) (写真票) (受験票)	本学所定のもの。 「出願カード記入上の注意」(19ページ)を参照し、記入すること。 文教育学部、理学部、生活科学部前期日程、生活科学部後期日程の4種類 あるので、出願する学部のカードに記入すること。 文教育学部・理学部・生活科学部前期日程用には「平成8年度大学入試セ ンター試験成績請求票」の(□)用を、生活科学部後期日程用には (□)用をそれぞれ所定欄に貼付すること。
2	入学志願者マ ーク・カード	「入学志願者マーク・カード記入上の注意」(23ページ)を参照し、本学 所定のマーク・カードに記入すること。
3	あて名票	合格通知に使用するので、本学所定の用紙に志願者の住所・氏名・郵便番 号を記入すること。郵便切手は貼付しないでよい。
4	実技関係調査 用紙	文教育学部舞踊教育学科舞踊教育学志願者のみ本学所定の用紙で提出する こと。(第2志望とした場合も同じ。)
5	調査書	出身学校長が作成し厳封したもの。ただし、出願資格(3)に該当する者 は、当該試験等の成績証明書を提出すること。
6	健康診断書	平成6年3月以前の高等学校卒業生及び出願資格(3)に該当する者は 「視力、聴力、結核及びその他の疾病、異常等」について医師が作成した 健康診断書(様式は特に定めない。)(出願前3か月以内のもの。)を提 出すること。ただし、平成7年3月高等学校卒業生及び平成8年3月高等 学校卒業見込みの者は提出しなくてよい。
7	検定料	郵便局振出しの16,000円の「普通為替証書」として受取人指定欄に「お茶 の水女子大学」と書くこと。 (注)1 第1段階選抜の不合格者に対しては、12,500円を返還する。 2 上記の1に該当する者は、平成8年3月31日までに申し出ること。 3. 上記1の場合以外は、いかなる理由があっても既納の検定料は返 還しない。
8	検定料納付書 (原符・領収 証書)	本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入し、裏面に志願者の住所・ 氏名・郵便番号を記入し50円切手を貼付すること。 領収証書には受験番号が記載されているので、大切に保管すること。



9	受験許可書	大学に在学している者は、学長・学部長・学生部長のいずれかが本学の受験を許可した証明書を提出すること。（様式は特に定めない。）
10	受験票返送用封筒	本学所定の封筒に350円切手（速達料を含む。）を貼付し、志願者の住所、氏名及び郵便番号を記入すること。
11	合格者受験番号表申込用紙（電子郵便）	本学所定の用紙を用い 580円分の切手を貼付すること。（希望者のみ）

### 注 意 事 項

- ① 出願カードは文教育学部用、理学部用、生活科学部前期日程用、生活科学部後期日程用の4種類があり、その他の出願書類は〔A日程・前期日程用〕と〔後期日程用〕の2種類あるので、志望する学部の提出書類日程を確認のうえ提出すること。
- ② A日程・前期日程と後期日程両方に出願する場合（併願）は、2種類の出願書類等をそれぞれ所定の封筒で提出すること。
- ③ 他の国公立大学（私立産業医科大学を含む。）の推薦入学に合格した者は、本学を受験しても入学許可は得られない。  
ただし、当該大学に「推薦入学辞退願」を提出し許可を得た場合を除く。
- ④ 本学の推薦入学及び帰国子女特別選抜の志願者で、合格とならなかった者が同じ学部に出願する場合は、出願書類等のうち、調査書及び健康診断書は提出しなくてもよい。
- ⑤ 本学の「前期日程試験」に合格し、3月13日（水）までに入学手続きを行った者は、本学及び他大学の「後期日程試験」に出願済みであっても、その合格者とならない。
- ⑥ 出願書類不備の場合は受理しない。また、一旦受理した書類は返却しない。

#### 4 出願期間

A日程・前期日程、後期日程とも平成8年1月22日（月）から1月31日（水）までの間に必着するよう郵送すること。

ただし、1月30日（火）以前の発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

## 5 大学入試センター試験で受験を要する教科等

本学に入学を希望する者は、推薦入学及び帰国子女特別選抜への出願を除き、下表に示す平成8年度大学入試センター試験を受験していなければ、出願し、受験しても入学許可は得られないので十分注意すること。

特に、\*印及び※印科目の受験資格に留意すること。

学部等名		受験を要する 教科名等	受験を要する教科名	受験を 要する 教科数
文教育学部			国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
理学部			国語 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	4教科
生活科学部	生活環境学科	前期日程	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
		後期日程	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
	人間生活学科	前期日程	国語 社会（倫、日、世、地理、現社*から1） 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 理科（物、化、生、地、理Ⅰ*から1） 外国語（英、独、仏から1）	5教科
		後期日程	国語 数学（「数Ⅰ」と「数Ⅱ、簿※、工※から1」） 外国語（英、独、仏から1）	3教科

\*「現代社会」及び「理科Ⅰ」は、高等学校の「普通科」及び「理数科」の卒業（見込み）者は、解答できない。

※「簿記会計Ⅰ・Ⅱ」及び「工業数理」は、高等学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者のみ解答できる。

## 6 入学者の選抜方法

### (1) 入学者の選抜

#### ① 第1段階選抜

学 部	日 程	第 1 段 階 選 抜	選 抜 方 法
文教育学部	A日程	入学志願者が募集人員を大幅に上回り、本学の個別学力検査等を適切に実施することが困難な場合は、第1段階選抜を行う。	本学各学部の定める「大学入試センター試験で受験を要する教科等」の各教科・科目の得点（本学が定める配点）を合計したものを受験者成績とし、得点順に各学部・学科等の募集人員（推薦入学及び帰国子女特別選抜を除く。）の約6倍を第1段階選抜合格者とする。
理 学 部	A日程		
生活科学部	前期日程		
生活科学部	後期日程	第1段階選抜は実施しない。	

#### ② 第1段階選抜の実施の有無及び実施の結果については、次のア又はイにより発表する。

ア. 第1段階選抜実施の有無	2月8日（木）の正午、学内本部棟前掲示板に掲示するとともに、実施しない場合は、志願者全員に「受験票」と「受験者心得」を郵送する。
イ. 第1段階選抜を実施した場合	2月9日（金）の正午、学内本部棟前掲示板に選抜の結果を発表する。合格者には「受験票」と「受験者心得」を、合格とならなかった者には「選抜結果通知書」及び「検定料返還金請求書」用紙を郵送する。

(2) 入学者の選抜は、A日程・前期日程志願者については、第1段階選抜合格者に対して、本学の入学試験を課し、その結果と大学入試センター試験成績、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する。

また、後期日程志願者については、大学入試センター試験成績、調査書及び健康診断書を総合して合格者を判定する。

(3) A日程・前期日程志願者には、「お茶の水女子大学受験票」と「受験者心得」を、後期日程志願者には「お茶の水女子大学受験票」を、平成8年2月9日（金）頃発送する。

なお、2月15日（木）を過ぎても到着しないときは、出願学部事務部へ問い合わせること。

(4) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」及び「大学入試センター試験受験票」を必ず持参すること。

なお、「大学入試センター試験受験票」は入学手続きの際にも必要となるので、受験後も紛失しないように保管しておくこと。

7 本学の入学試験

(1) 期 日

文教育学部 平成8年2月25日(日) 学力検査  
平成8年2月26日(月) 実技検査(文教育学部・舞踊教育学科のみ)

理 学 部 平成8年2月25日(日)

生活科学部〔前期日程〕 平成8年2月25日(日)  
〔後期日程〕 個別学力検査は実施しない

(2) 試 験 場 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

(3) 学 力 検 査

学 部 ・ 学 科		学 力 検 査 科 目	備 考
※ 文教育学部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 国 文 学 科 外 国 文 学 科 教育学科(教育学) 教育学科(心理学) 舞 踊 教 育 学 科	A 国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、 フランス語から1か国語選択)	舞踊教育学科(舞踊教育学、音楽教育学)の志望者にはほかに実技検査を行う
	地 理 学 科 教育学科(心理学) 舞 踊 教 育 学 科	B 数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、 確率・統計*) 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、 フランス語から1か国語選択)	
理学部	数 学 科	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析 微分・積分、確率・統計*) 理科(物理、化学、生物から1科目選択)	
	物 理 学 科	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析 微分・積分、確率・統計*) 理科(物理)	
	化 学 科	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析 確率・統計*) 理科(「化学」と「物理、生物から1科目 選択」)	
	生 物 学 科	数学(数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析 確率・統計*) 理科(「生物」と「物理、化学から1科目 選択」)	

学部・学科		学力検査科目		備考	
理学部	情報科学科	数学（数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、 微分・積分、確率・統計*） 理科・数学（「物理」、「化学」、「生物」、 「数Ⅰ、代数・幾何、 基礎解析、微分・積分、 確率・統計*」から2科目選 択）			
☆ 生活 科学部	生活環境学科	前期日程	数学（数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、 確率・統計*） 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、 フランス語から1か国語選択）		
		後期日程	課さない。		
	人間生活学科	前期日程	A	国語（国語Ⅰ・Ⅱ、古典） 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、 フランス語から1か国語選択）	
			B	数学（数Ⅰ、代数・幾何、基礎解析、 確率・統計*） 外国語（英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、 フランス語から1か国語選択）	
	後期日程	課さない。			

\* 数学のうち確率・統計については、高等学校学習指導要領の確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

※ 地理学科、教育学科（心理学）及び舞踊教育学科志望者は、A・Bいずれかで受験すること。

☆ 人間生活学科前期日程志望者は、A・Bいずれかで受験すること。

#### (4) 実 技 検 査

○ 舞踊教育学志望者に次の2種の検査を行う（第2志望とした場合も同じ。）。

- ① ダンス（全員に課する）
  - ア. 与えられた基礎運動
  - イ. 創作（各種舞踊に基づいた創作も可）
- ② スポーツ（次のア～オから1種目を選択）
  - ア. 陸上競技（短距離走及び走り幅跳び）
  - イ. 器械運動（マット運動）
  - ウ. バレーボール
  - エ. バスケットボール
  - オ. テニス（硬式又は軟式）

※ 本学所定の実技関係の調査用紙「そのⅠ スポーツの選択種目に関する調査」及び「そのⅡ 舞踊と体育活動に関する調査」を本人が記入し、出願書類と一緒に送ること。

※ 実技試験に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

○ 音楽教育学志望者に次の検査を行う（第2志望とした場合も同じ。）。

- ① ソルフェージュ
  - ア. 聴音：1～4声部
  - イ. 新曲視唱
- ② 声 楽
  - 下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。
  - （i）イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択
  - （ii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択
  - （iii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択
  - なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に送ること。（返却しない。）
- ③ ピアノ
  - 下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。
  - （i）J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択
  - （ii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く。）
  - （iii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

(5) 入学者選抜試験配点  
文教育学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験					本学の試験			合計	備考	
	国語	社会	数学	理科	外国語	国語	数学	外国語			計
全学科A	100	50	100	50	100	400	200	200	400	800	舞踊教育学科舞踊教育学・音楽教育学は、実技検査を課し、総合判定の資料とする。
地理学科 教育学科 (心理学) 舞踊教育学科	100	50	100	50	100	400	—	200	400	800	

理学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験					本学の試験					合計	備考	
	国語	社会	数学	理科	外国語	*数学	数学	数学	物理	化学			生物
数学科						100☆	200	—	(100)	(100)	(100)	400	数学科、化学科、生物学科は( )から1科目選択 情報科学科は( )から2科目選択 *数学は共通 ☆数学の科目のうち「微分・積分」を除く
物理学科						100☆	—	100	200	—	—	400	
化学科	50	—	50	50	100	100☆	—	—	(100)	200	(100)	400	
生物学科						100☆	—	—	(100)	(100)	200	400	
情報科学科						100☆	100	(100)	(100)	(100)	(100)	400	

生活科学部

試験区分 教科・科目等 学科名	大学入試センター試験					本学の試験			合計	備考		
	国語	社会	数学	理科	外国語	国語	数学	外国語			計	
生活環境学科	前期日程	100	50	100	50	100	400	—	200	200	400	800
	後期日程	100	50	200	100	150	600	—	—	—	—	600
人間生活学科	前期日程A	100	50	100	50	100	400	200	—	200	400	800
	前期日程B							—	200	200	400	800
後期日程	200	—	200	—	200	600	—	—	—	—	—	600

(注) 三学部とも大学入試センター試験の理科を2科目以上受験した場合は、高得点の科目の成績を用いる。

(6) 入学試験日時割

学部・学科等		日 時	
		2月25日(日)	26日(月)
文 教 育 学 部	哲学 史学 地理学 国文学 外国文学 教育学 (教育学) (心理学)	A 国語 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50
	地理学 教育学科(心理学)	B 数学 10:00~11:40	
	舞踊教育学科	A 国語 10:00~11:40	
	舞踊教育学科	B 数学 10:00~11:40	
理 学 部	数 学 科	数学 10:00~11:40	数学・選択(物理、化学、生物) 13:10~16:10
	物 理 学 科		物理・数学 13:10~16:10
	化 学 科		化学・選択(物理、生物) 13:10~16:10
	生 物 学 科		生物・選択(物理、化学) 13:10~16:10
	情 報 科 学 科		数学・選択(物理、化学、生物、 数学) 13:10~16:10
生 活 科 学 部 前 期 日 程	生 活 環 境 学 科	数学 10:00~11:40	外国語 13:10~14:50
	人 間 生 活 学 科	A 国語 10:00~11:40	
		B 数学 10:00~11:40	



## 8 身体に障害のある者の出願

本学に入学を志望する者のうち、次表に該当する者で、受験上特別な措置を希望する者については、事前協議を行うので、出願に先立ち本学入学主幹室に申し出て（電話可）、「受験特別措置協議申請書」を受領のうえ、12月20日（水）までに必要書類を添えて提出すること。

なお、日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場の設定等との関係から特別措置として取り扱うこととしているので、前記と同様に先立ち本学入学主幹室に申し出ること。

お茶の水女子大学入学主幹室 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
電 話 (03) 5978-5151~2

障害の種別	障 害 の 程 度
視覚障害者	1. 両眼の矯正視力が0.1未満のもの 2. 両眼の矯正視力が0.1以上0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、点字による教育を必要とするもの又は将来点字による教育を必要とすることとなるとみとめられるもの
聴覚障害者	1. 両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの 2. 両耳の聴力レベルが100デシベル未満60デシベル以上のものうち、補聴器の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 体幹の機能の障害が、体幹を支持することが不可能又は困難な程度のもの 2. 上肢の機能の障害が、筆記をすることが不可能又は困難な程度のもの 3. 下肢の機能の障害が、歩行をすることが不可能又は困難な程度のもの 4. 前3号に掲げるもののほか、肢体の機能の障害がこれらと同程度以上のもの 5. 肢体の機能の障害が前各号に掲げる程度に達しないものうち、6月以上の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の胸部疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状況が6月以上の医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が6月以上の生活規制を必要とする程度のもの

(注 学校教育法施行令第22条の2の規程に準拠した。)

## 9 合格発表

### 文教育学部・理学部・生活科学部前期日程

3月8日（金）正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

（注）生活科学部前期日程は、合格発表から入学手続締切日までの期間が短いので、注意すること。

### 生活科学部後期日程

3月21日（木）正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

（注）電話等による合否の問い合わせには一切応じない。

合格者には、発表当日、合格通知先記載の住所に合格通知書を郵送する。

### ※ 電子郵便による「合格者受験番号表」送付について

電子郵便の内容は、志願した学部ごとに合格者全員の受験番号が記載されている。従ってこれに自分の受験番号が載っていない場合は不合格である。

出願書類を郵送する際、本学所定の用紙に必要事項記入のうえ 580円切手を貼付して提出すること。（電子郵便のあて先は、必ず本人が受け取ることのできる所とし、提出後のあて先の変更はできない。）

特に前期日程志願者は、合格発表から入学手続締切りまでの期間が短いため、合格発表当日、確認に来ることができない者は、送付を希望することが望ましい。

電子郵便は、合格発表日に到着する予定であるが、万一、未着の場合は小石川郵便局〔TEL (03)3815-7155・7156〕へ直接問い合わせること。

この「合格者受験番号表」の不着及び遅配を理由とした入学手続期間経過後の手続は一切認めない。

（注）上記の電子郵便以外の合否電報等は、本学とは一切関係なく、大学は責任を持ってないので注意すること。

## 10 入学手続等

### (1) 入学手続日

学 部	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
文 教 育 学 部 理 学 部	3月12日（火）	10:00～12:00、13:00～16:00	本学共通講義棟2号館
	3月13日（水）	〃	〃
	3月26日（火）	〃	〃
	3月27日（水）	〃	〃
生活科学部	前期 日程	3月12日（火）	10:00～12:00、13:00～16:00
		3月13日（水）	〃
	後期 日程	3月26日（火）	10:00～12:00、13:00～16:00
		3月27日（水）	〃

（注）所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退したものと取り扱う。

(2) 留意事項

本学に入學手続を完了した後にこれを取り消して他の国公立大学（私立産業医科大学を含む。）に入學手続をすることはできない。

(3) 手続事項

提出書類	平成8年度大学入試センター試験受験票
入 学 料	270,000円
授 業 料	前期分 223,800円〔年額 447,600円〕 (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入學手続終了者が3月31日までに入學を辞退した場合には、納付した者の申出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。

11 追加合格の通知

- (1) 入學手続締切期日後、募集人員に欠員が生じた場合には、3月28日以降に合格者の追加を行う。
- (2) 追加合格者への通知は、電話で行うので、本学からの連絡が確実に受けられるようにしておくこと。
- (3) 入學手続等については、この要項「10 入學手続等」に準ずるが、手続期日等については追加合格の通知（電話）を行う際に連絡する。  
なお、合格者の追加を行うか否かについての問い合わせは、テレホンサービスを利用すること。

12 問い合わせ先

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入學主幹室入學試験係 TEL (03) 5978-5151~2

お茶の水女子大学 文教育学部事務部 TEL (03) 5978-5162

お茶の水女子大学 理学部事務部 TEL (03) 5978-5287

お茶の水女子大学 生活科学部事務部 TEL (03) 5978-5722

問い合わせの場合は返信用封筒（切手貼付）を同封し、返信先を明記すること。

13 テレホンサービスについて

○出願状況（各学部学科別志願倍率等）

平成8年1月23日（火）～2月7日（水）

○第1段階選抜の実施の有無

平成8年2月8日（木）正午

○追加合格の実施の有無

平成8年3月27日（水）18時以降

電話番号

(03) 3946-5109

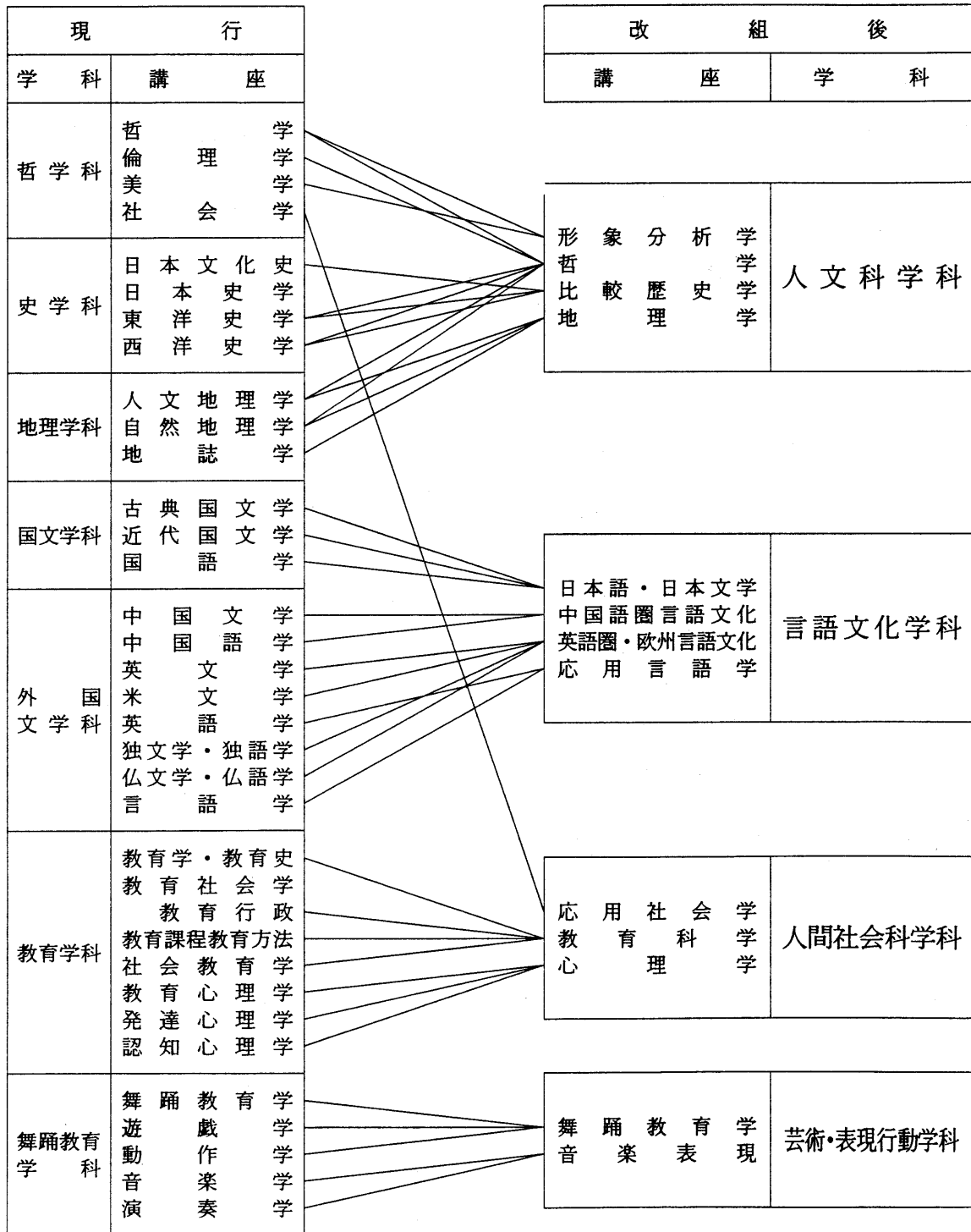
14 文教育学部の学科改組の予告について

文教育学部学科改組計画概要

文教育学部では、平成8年度から次のように学科の改組を計画している。この計画は、関係法令の制定及び平成8年度予算成立との関連から現在は未確定であるが、詳細は政府予算案の決定後（平成8年1月頃）「一般選抜の学生募集要項（追加）」として公表する予定である。

(1) 改組の内容

現在の7学科34講座を次のとおり4学科13大講座に改組する。



## (2) 学科・講座の概要

### 人文科学科

様々な社会や文化にみられる相違や共通点を把握するために必要な基礎的な思考力を養成し、画像を含む幅広い資料に基づく実証的分析、時間的、空間的な総合的分析を通じ、人間の活動の本質を多角的に追求する。

講 座	講 座 の 概 要
形 象 分 析 学	建築・絵画・彫刻・工芸をはじめ、古文書・古地図・地図情報・気象情報などの画像資料について、人文科学の幅広い視野からの総合的・実証的な分析を通じ形象の意味を明らかにする。
哲 学	真、善、美をめぐる様々な問題を、哲学・倫理学などの視点から多角的に取り扱う。そのために、哲学的な思考力を養成し、倫理観の探究や倫理思想史の研究等に重点を置いた教育を行う。
比 較 歴 史 学	様々な社会や民族の違いを理解し合い共存していくために必要な歴史的な見方を研究する。従来の歴史学の方法に加えて比較の視点を重視し、分りやすくアプローチする。
地 理 学	実在の地域に展開する人文・社会現象あるいは、その基盤である自然現象に着目し、実地の環境調査・村落調査などにより入手する一次資料に基づく実証的教育・研究を行う。

### 言語文化学科

人間の言語活動とそれに基づく文化現象を総合的に把握することを目指す。特に、日、中、英、仏、独のそれぞれの言語と文学及び言語文化とを、個別的に、あるいは、比較対比的に教育し研究する。

講 座	講 座 の 概 要
日 本 語 ・ 日 本 文 学	日本の古典文学、近現代文学及び日本語に関して、他地域の文学や他言語と関連しつつ、幅広く、かつ深く教育・研究を行う。
中 国 語 圏 言 語 文 化	中国古典文学、中国現代文学及び中国語を中心にして、中国、台湾、香港など広く中国語圏地域の言語と文化の教育・研究を行う。
英 語 圏 ・ 欧 州 言 語 文 化	英語、仏語及び独語の教育・研究を柱とし、それぞれの言語が地域性と関連しつつ育んできた言語文化の諸相及び各言語文化の相互関係を教育・研究する。
応 用 言 語 学	英語圏・欧州言語文化講座と連携を図りながら言語の理論面のみならずその応用面、特に母国語以外の第二言語の習得と運用の在り方について教育・研究を行う。

### 人間社会科学科

人間の行動メカニズム、社会構造と人間の関わり、人間の発達過程に、マクロ（社会構造）とミクロ（心理・生理）の両面から科学的方法論をもって接近し、総合的な人間理解を目指す。学校、家族、職場等における諸問題の科学的分析と解決を目指した教育・研究を行う。

講 座	講 座 の 概 要
応 用 社 会 学	人間の社会的行為や現代社会の諸問題を、社会構造やその変動との関連において、理論的かつ実証的に解明し、更にそれを実際の問題解決の場面に応用できるような教育・研究を行う。
教 育 科 学	人間の生涯にわたる発達の過程に、多様な科学的方法論によってアプローチし、生涯学習社会における教育・発達問題の解決に寄与できる専門的人材の育成を目指す。
心 理 学	人間行動の科学的・総合的な理解を教育・研究の目標にしており、社会・教育・発達・臨床・認知の各領域を基礎から応用まで体系的に学ぶ。

### 芸術・表現行動学科

舞踊・スポーツ、音楽の芸術・表現行動を総合科学的に捉えることによって多様な文化を理解し、併せて理論と実践を統合して現実に応用できる教育・研究を行う。

講 座	講 座 の 概 要
舞 踊 教 育 学	舞踊並びにスポーツ等の身体表現行動を理論と実践の両面から総合科学的に解明し、現実社会に応用できるような教育・研究を行う。
音 楽 表 現	芸術・表現行動を音楽表現の理論と実践両面から捉えることにより、現代の多様な文化を理解し、メディアの発達した社会生活と密接に関連した教育・研究を行う。

(3) 平成8年度文教育学部学生募集の取扱い

学科の改組が確定した場合は、次のとおり対応する改組後の学科に移行することとなる。

現 行					改 組 後		
学 科		入学定員	募集定員	推薦入学	学 科	入学定員	推薦入学
哲	学 科	24	24		人 文 学 科	63	( 5 )
史	学 科	23	23				
地	理 学 科	22	17	5			
国	文 学 科	35	27	8	言 語 文 化 学 科	92	(12)
外 国 文 学 科	中国文学・中国語学	12	8	4			
	英文学・英語学	37	37				
	仏文学・仏語学	8	8				
教 育 学 科	教 育 学	23	23		人 間 社 会 学 科	46	
	心 理 学	17	17				
舞 踊 教 育 学 科	舞 踊 教 育 学	18	18		芸 術 ・ 表 現 行 動 学 科	31	
	音 楽 教 育 学	13	13				
計		232	215	17	計	232	(17)

注 ( ) は内数で示す。

## 出願カード記入上の注意

〔文教育学部〕  
〔理 学 部〕  
〔生活科学部前期日程〕

それぞれの学部の用紙に記入すること。

黒又は青のボールペンか万年筆で太枠内だけ記入のこと。 ☆欄には記入しない。

### 志願者名票

- 1 現住所 電話は呼出でもよいから、番号と呼出先を記入すること。
- 2 合格通知先 本学と確実に連絡できる場所を記入すること。  
別添の「合格通知先あて名票」1枚も記入すること。
- 3 出身校は、国立・公立・私立のいずれかに○をつけ、都道府県欄には、出身校所在地の都道府県名を記入すること。
- 4 氏名は、「カタカナ」及び「漢字」で丁寧に記入すること。
- 5 志望学科等は21ページ志望欄記入要領に従って記入すること。
- 6 大学入試センター試験成績請求票はりつけ欄  
「平成8年度大学入試センター試験成績請求票（）用」をきりとり、枠内に正しくはること。
- 7 3月28日以降の連絡先  
3月28日から追加合格通知を行う場合もあるので、連絡先が異なる場合は、記入すること。
- 8 選択届出科目  
太枠内に各自の受験する科目に赤で○を付けること。  
理学部の志願者は志望学科について決められた科目を選択すること。

### 写真票及び受験票

- 1 氏名は、漢字で丁寧に記入すること。
  - 2 志望欄は21ページ志望欄記入要領に従って記入すること。
  - 3 写真（カラーでも白黒でもよい）は、単身・正面向き・上半身、縦4 cm・横3 cm、提出前3か月以内に写したもの。メガネ使用者は、メガネ着用のこと。  
（写真票と受験票は同じ写真を貼ること。）
- 出願後の志望学科等（第2志望も同じ）及び選択届出科目の変更はできない。  
○ 各票の記入に間違いがないか、各票の記入が同一であるか確かめること。  
○ 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。  
○ 別添の「入学志願者マーク・カード」も記入すること。



## 出願カード記入上の注意

〔生活科学部後期日程〕

生活科学部後期日程志願者のみ記入すること。

黒又は青のボールペンか万年筆で太枠内だけ記入のこと。 ☆欄には記入しない。

### 志願者名票

- 1 現住所 電話は呼出でもよいから、番号と呼出先を記入すること。
- 2 合格通知先 本学と確実に連絡できる場所を記入すること。  
別添の「合格通知先あて名票」1枚も記入すること。
- 3 出身校は、国立・公立・私立のいずれかに○をつけ、都道府県欄には、出身校所在地の都道府県名を記入すること。
- 4 氏名は、「カタカナ」及び「漢字」で丁寧に記入すること。
- 5 志望学科等は21ページ志望欄記入要領に従って記入すること。
- 6 大学入試センター試験成績請求票はりつけ欄  
「平成8年度大学入試センター試験成績請求票（後）用」をきりとり、枠内に正しくはること。
- 7 3月28日以降の連絡先  
3月28日から追加合格通知を行う場合もあるので、連絡先が異なる場合は、記入すること。

### 写真票及び受験票

- 1 氏名は、漢字で丁寧に記入すること。
  - 2 志望欄は21ページ志望欄記入要領に従って記入すること。
  - 3 写真（カラーでも白黒でもよい）は、単身・正面向き・上半身、縦4cm・横3cm、提出前3か月以内に写したもの。メガネ使用者は、メガネ着用のこと。  
（写真票と受験票は同じ写真を貼ること。）
- 出願後の志望学科の変更はできない。
  - 各票の記入に間違いがないか、各票の記入が同一であるか確かめること。
  - 誤って記入した場合は、誤記部分を二重線で消し、訂正すること。
  - 別添の「入学志願者マーク・カード」も記入すること。

## 志望欄記入要領

### 文教育学部志願者

- 志願者名票の志望学科等欄に下表に示す名称で記入すること。（第2志望も同じ。）
- 哲学科志願者は学科改組の計画（18ページ参照）を参考にして必ず専攻欄に改組後の志望学科「人文科学科」又は「人間社会科学科」を記入すること。（第2志望を哲学科とした者も同じ。）
- 外国文学科、教育学科、舞踊教育学科志願者は必ず専攻欄を記入すること。（第2志望も同じ。）
- 写真票・受験票の志望欄も、外国文学科、教育学科、舞踊教育学科志願者は専攻欄を記入すること。（その他の学科志願者は、学科欄を記入すること。第2志望も同じ。）
- 第2志望がない者は、第2志望欄に「なし」と記入すること。

学 科	哲 学	史 学	地 理	国 文
専 攻	(人文科学科)	(人間社会科学科)		

学 科	外国文学科			教 育		舞 踊 教 育	
専 攻	中 文	英 文	仏 文	教 育	心 理	舞 踊	音 楽

※ 地理、心理、舞踊、音楽を志望した者は必ずA・Bどちらかに○をつけること。

Aは本学の入学試験学力検査科目（国語、外国語）のことであり、Bは入学試験学力検査科目（数学、外国語）のことである。

### 理学部志願者

- 志願者名票志望学科等欄に下表に示す名称で記入すること。
- 写真票・受験票志望欄に下記名称で記入すること。
- 理学部志願者は第2志望を認めない。

学 科				
数 学	物 理	化 学	生 物	情 報

生活科学部志願者〔前期日程・後期日程〕

- 志願者名票志望学科等欄には、下記の学科欄、専攻欄を参照のうえ、志望学科名及び入学後に履修を希望する専攻分野について下表に示す名称で記入すること。
- 入学後に履修を希望する専攻分野については、第2志望まで認める。（同一学科内に限る。）
- 第2志望がない者は、第2志望欄に「なし」と記入すること。
- 写真票・受験票の志望欄にも、入学後に履修を希望する専攻分野を記入すること。

学 科	生 活 環 境		
専 攻	生活工学	食物科学	人間科学

学 科	人 間 生 活		
専 攻	発達臨床学	生活社会科学	生活文化学

※ 前期日程人間生活学科は必ずA・Bどちらかに○をつけること。

Aは本学の入学試験学力検査科目（国語、外国語）のことであり、Bは入学試験学力検査科目（数学、外国語）のことである。

入学志願者マークカード記入上の注意

1 マーク・カードは、文教育学部・理学部・生活科学部前期用と生活科学部後期用の2種類あるので、志望する学部  
のカードのみ記入すること。

なお、生活科学部後期日程にも出願する者（併願）は、2種類とも記入すること。

2 マークカードの記入にはB又はHBの鉛筆を使用し、大学入試センター試験受験番号、試験場コード、発行回数、  
出身高校コード、志望学部・学科等コードを枠からはみ出さないようにぬりつぶすこと。

3 コード記入欄、氏名欄（太線の内側）には、該当コードおよび、氏名等を楷書で記入すること。

4 記入に際しては大学入試センター試験受験票及び大学入試センター試験受験案内の高等学校等コード表をよく確認  
すること。なお、発行回数は、大学入試センター試験受験票の発行回数欄の数をマークすること。

5 学部欄の、文は文教育学部、理は理学部、生・前は生活科学部前期日程、生・後は生活科学部後期日程なので、志  
望する学部を1か所ぬりつぶすこと。

6 志望学科コードは右の志望学科等コード表を参照の上、記入すること。  
（理学部志望者は第2志望欄は記入しないこと。）

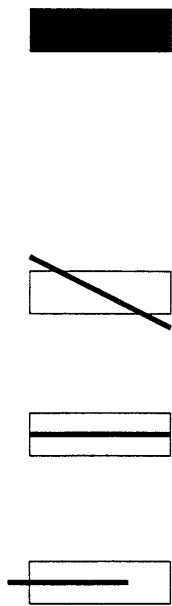
7 生活科学部志望者は学科名及び入学後履修を希望する専攻分野を記入すること。

（生活科学部志望者は同一学科内に限り入学後履修を希望する専攻分野を第2志望まで認める。）

8 文教育学部の「地理」「心理」「舞踊」「音楽」、及び生活科学部人間生活学科を志望する者は、必ず受験区分の  
A・Bどちらかに○をつけること。

9 このマークカードは電子計算機で処理するので、折ったり、汚したりしないこと。

悪いマーク例 正しいマーク例



文教育学部		理学部		生活科学部	
学科等	コード	学科	コード	学科等	コード
哲学 (人文科学)	1	数学	1	生活環境学科	1
史学	2	物理学	2	生活工学	2
地理 (A・B)	3	化学	3	食物科学	3
国文	4	生物	4	人間科学	3
中文	5	情報科学	5	人間生活学科	4
英文	6			発達臨床学 (A・B)	4
仏文	7			生活社会科学 (A・B)	5
教育	8			生活文化学 (A・B)	6
心理 (A・B)	9			第2志望なし	0
舞踊 (A・B)	10				
音楽 (A・B)	11				
哲学 (人間社会科学)	12				
第2志望 なし	0				

記入例

*受験番号	大学入試センター試験				発行回数	出身高校コード	学 部	第1 志望	第2 志望	お茶の水女子大学 入学志願者マーク・カード (文教育学部・理学部・生活科学部前期用)														
	受験番号	受験番号	試験場コード	試験場コード						氏名	志望学部	志望学科等 第1志望	志望学科等 第2志望	受験区分	出身高校等									
	2	4	6	1	R	1	3	5	0	1	B		6	4	3	1	5	J		9	6	ふりがな	おみづがみ	なみこ
																						氏名	大塚 文子	
																						志望学部	文教育学部	
																						志望学科等 第1志望	心理	
																						志望学科等 第2志望	英文	
																						受験区分	①・B	
																						出身高校等	丸の内 高等学校	
																						*印欄は記入しないこと		

記入例

*受験番号	大学入試センター試験				発行回数	出身高校コード	学 部	第1 志望	第2 志望	お茶の水女子大学 入学志願者マーク・カード (生活科学部後期用)														
	受験番号	受験番号	試験場コード	試験場コード						氏名	志望学科	専攻分野等 第1志望	専攻分野等 第2志望	出身高校等										
	2	4	6	1	R	1	3	5	0	1	B		6	4	3	1	5	J		5	6	ふりがな	おみづがみ	なみこ
																						氏名	大塚 文子	
																						志望学科	人間生活学科	
																						専攻分野等 第1志望	生活社会科学	
																						専攻分野等 第2志望	生活文化学	
																						出身高校等	丸の内 高等学校	
																						*印欄は記入しないこと		

## II 大 学 案 内

### 1 大学の概要

本学は広く知識を修得するとともに深く専門の学術をきわめ、知的・道徳的及び応用的能力を展開することを目的とし、新時代における文化の発展をはかる指導的女性を養成することを使命とする。

本学は、明治8年本郷湯島（現文京区湯島3丁目）、現在の御茶ノ水駅近くに東京女子師範学校として開校された。しかし大正12年の関東大震災により全校舎が焼失したため、昭和7年から11年にかけて現在地に移転した。昭和24年国立学校設置法が公布され、東京女子高等師範学校からお茶の水女子大学となり、文学部と理家政学部の2学部が設置された。昭和25年文学部、理家政学部の2学部が文教育学部、理学部、家政学部の3学部となった。また、昭和43年家政学部に家庭経営学科が設置され、昭和52年に文学部が国文学科と外国文学科に改組、昭和57年に教育学科が教育学科と舞踊教育学科に改組、平成2年理学部に情報科学科が設置された。平成4年10月には家政学部が生活科学部に改組された。

学部課程に続き更に専門分野の学識を深化し、研究能力を得させるために、大学院修士課程（2年制）の人文科学、理学及び家政学の3研究科が設けられている。これらの各研究科の中は各学部、学科に相当する各専攻に分かれる。学部・学科を構成する教官組織は修士講座制が採用されており、専門別の研究、教育が緻密に進められている。修士課程には、本学学部出身者以外に他大学からの進学者も多数いるのが現状である。

学部及び修士課程の各専門分野を基礎としてその上に本学を特徴づける独自の大学院として博士課程「人間文化研究科（比較文化学専攻・人間発達学専攻・人間環境学専攻）」（3年制）が設置されている。これは専門の枠を超えた高度の学際的研究を行う創造的能力をもった研究者を養成する機関であり、全学的な総合組織として活動している。

学内共同教育研究施設等としては、女性文化研究センター、生活環境研究センター、共通機器センター及び情報処理センターがある。

各学科学年別に補導委員があり、学生の学習その他学生生活全般に対する相談に応じている。

#### 【文教育学部】

哲学、史学、地理学、国文学、外国文学、教育学、舞踊教育学の7学科から成り、外国文学科はさらに、中国文学・中国語学、英文学・英語学、仏文学・仏語学の3専攻に分かれ、また、教育学科は教育学、心理学、舞踊教育学科は舞踊教育学、音楽教育学の各2専攻に分かれている。文教育学部は、上記の各学科・専攻からも知られるように、人文科学・社会科学・教育学の基礎的知識と研究方法を教授し、各分野のそれぞれに研究が進められている。

文教育学部という学部名称は全国大学学部の中で唯一のものであり、単純に文学部と教育学部が、結合したものではなく、機能的内容を持っていることに特色がある。各学科で開講されている講義演習さらにラテン語、ギリシャ語等を含む学部共通の講義を含め、多数の教官により多様多彩の講義が用意されている。学生の積極的学習意欲に対しては、できるだけ応ずる姿勢があるので、専攻分野に深く習熟すると共に、人間形成のために広く教養を身につけることが望まれる。さらに深く研究を志す者には、大学院人文科学研究科（修士課程）が設けられており、毎年約20%の学生が進学している。

#### 【理 学 部】

国公立の女子大学のなかで、理学部をもつ大学は少なく、貴重な存在である。数学科・物理学科・化学科・生物学科に加えて、平成2年度から情報科学科が設置され、現在5学科からなっている。数学と情報科学を含む自然科学の基礎を教育、研究し、人類の将来の展望をひらくという社会のニーズにこたえる人材を供給しつづけている。

本学部附置の臨海実験所（館山）、ラジオアイソトープ実験室、極低温実験室、組換えDNA実験室のほか、全学附置の情報処理センターも利用し、豊かな教官スタッフによる少人数教育の

実績を内外にほこっている。

理学部の各学科の専門分野を更に深く専攻できるように、大学院理学研究科（修士課程）が設けられ、中堅研究者を育てている。大学院へ進学する学部卒業生の割合は3学部のなかでは現在もっとも高く、かつ増えつつけている。

#### 〔生活科学部〕

わが国の人々の生活のより一層の向上と物心両面の充実に資することを目的とし、人間生活の科学を大きく自然科学的分野と社会・人文科学的分野とに分け、前者を生活環境学科、後者を人間生活学科とした生活科学部を組織する。生活環境学科は、高度に科学化された現代の生活資材の生産とその生活への利用や、生態系の一員としての人間の健康と生存に関して自然科学的に対応しうる能力を有した人材を社会に供給する。そのため、生活工学講座、食物科学講座、人間科学講座を設定する。

人間生活学科は長寿社会となったわが国の人々の時間的、空間的に拡大した人生をより幸福に生きるための個人的社会的条件を探究する専門家や、実践家を社会に提供する。そのため、発達臨床学講座、生活社会科学講座、生活文化学講座を設定する。

各学科の紹介等は、お茶の水女子大学大学案内に記載されているので、希望者は下記あてに請求すること。

請求先：☎112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

お茶の水女子大学 入学主幹室

請求方法：390円切手を貼った返信用封筒角型2号（23.9×33.1cm）を同封のこと

## 2 学 費

入 学 料 270,000円

授 業 料 前期分 223,800円

(年額 447,600円)

(注) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することが出来る。

## 3 奨 学 金

学業成績・人物ともに優秀、身体強健でかつ経済的事情のため学費の支弁が困難な学生には選考の上、日本育英会から奨学金が貸与される。

現在、貸与額は第1種奨学生、第2種奨学生ともに自宅通学生が38,000円、自宅外通学生が44,000円となっている。この他に各都道府県、民間団体等で奨学金制度を設けているところがある。これらを希望する者は、出身地の教育委員会や本学学生課に照会すること。

## 4 入学料免除と授業料免除

### ○ 入学料免除について

#### (1) 入学料免除の対象者

ア 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者

イ 上記アに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

(2) 入学料の免除が必要と認められた者については、納付すべき入学料の全額又は半額を免除する。

○ 授業料免除について

(1) 授業料免除の対象者

ア 経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められる者

イ 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災難を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者

ウ 上記イに準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある者

(2) 授業料の免除が必要と認められた者については、納付すべき授業料の全額又は半額を免除する。

(3) 免除は年度を2期に分け半期分ごとに選考のうえ、授業料の全額又は半額が免除もしくは、不許可が決定される。ただし授業料納付済の者は免除の対象とならない。

○ 入学料免除及び授業料免除の申請について

本学へ入学を志願し、入学料免除、授業料免除のいずれか又は両方を希望する者は、以下により申請手続を行うこと。

(1) 申請書類の請求

別添「請求書」に所要事項を記入し、返信用封筒（角形2号・返信用切手は請求種別により異なる。）を同封のうえ請求すること。

(2) 請求期間

申請書類は、平成8年2月1日（木）から平成8年2月16日（金）までに請求すること。

(3) 申請書類の提出期間

提出期限 合格者はそれぞれの入学手続き期間中に提出すること。

(4) 免除に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学学生部学生課厚生係

TEL (03) 5978-5148

5 学生教育研究災害傷害保険

大学の教育研究活動中における不慮の災害事故により学生のうけた傷害に対する救済措置として、財団法人内外学生センターが保険契約者となり、東京海上火災保険株式会社を幹事会社とする国内損害保険会社との間に一括契約するものである。

保険期間	保険料適用区分	
	文教育学部	理学部・生活科学部
4年間	2,300円	3,000円

保険料は入学手続期間中に徴収しており、本学学生のほぼ全員が加入している。

6 課外活動

大学の4か年在学中、勉学の余暇を利用して正課以外の学術・社会・芸術・スポーツ・レクリエーションなどに関する活動に参加する経験は、豊かな人間性を育てるために重要な意味を持っている。

本学には、現在文化系27サークル、体育系24サークルがあり、顧問教官の指導と助言のもとに自主的に活発な活動が行われている。



## 7 保健管理センター

本センターは、学部・大学院生（約 3,000名）と本学教職員（約 400名）の健康管理及びカウンセリングサービスに当たり、職員 2 名（常勤内科医 1 名を含む。）と校医 2 名（婦人科医・精神科医）が配置されている。

主要な事業は、(1)定期及び臨時健康診断、(2)救急及び第一次医療サービス、(3)学生相談（一般・就職・進学・精神衛生）であって、診療件数は月平均1,000件にのぼる。

## 8 学外施設

志賀高原体育運動場

所在地 長野県下高井郡山ノ内町平隠7149

館山野外教育施設

所在地 千葉県館山市香長通11

## 9 下宿・貸間の紹介

大学周辺の貸間代は、一畳当たり約 6 千円から 1 万円見当であるが、アパート形式が多く下宿（賄付き）はほとんどありません。

大学周辺の貸間等の紹介については、3 月末に学生課で資料を掲示しますが、物件数等は必ずしも十分とはいえませんので、親戚知人等の安心できる住居を確保するよう心掛けてください。

## 10 寄 宿 舎

本学には、次の寄宿舍がありますが、新入生が入居できるのは国際学生宿舍のみです。入居希望者は下記により手続きを行ってください。

寄 宿 舎 名	所 在 地	収 容 人 員	構 造	給 食	費 用 (1 ヶ 月)	対 象 学 生
小 石 川 寮	文京区大塚	80人 (個室)	鉄筋コンク リート4階	な し	寄宿料 3,000円 その他光熱水料 等 約 8,000円	3～4年生 大学院生
国際学生宿舍	板橋区仲町	136人 (4人室)	〃	な し	寄宿料 700円 その他光熱水料 等 約 6,000円	新 入 生 在 学 生

### (1) 申請書類の請求

別添「請求書」に所要事項を記入し、返信用封筒（角形 2 号・返信用切手は請求種別により異なる。）を同封のうえ請求すること。

### (2) 請求期間

申請書類は、平成 8 年 2 月 1 日（木）から平成 8 年 2 月 9 日（金）までに請求すること。

### (3) 申請書類の提出期限

提出期限 平成 8 年 2 月 27 日（火）まで

### (4) 寄宿舍に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学学生部学生課厚生係

TEL (03) 5978-5148

# ○平成8年度お茶の水女子大学私費外国人留学生（学部留学生） 特別選抜学生募集要項

## 1 募集学部・学科・人員

学 部	学 科
文 教 育 学 部	哲学科、史学科、地理学科、国文学科、外国文学科（中国文学・中国語学、 英文学・英語学、仏文学・仏語学）、教育学科（教育学、心理学）、 舞踊教育学科（舞踊教育学、音楽教育学）
理 学 部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、情報科学科
生 活 科 学 部	生活環境学科、人間生活学科

募集人員は、各学科とも若干名

## 2 出願資格

次の(1)、(2)のすべてに該当する外国人女子

- (1) 平成7年度日本語能力試験（1級）及び平成8年度私費外国人留学生統一試験を受験した者
- (2) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部大臣の指定した者  
なお、日本において高等学校を卒業又は同等以上の資格を得た者は、日本人学生と同様に取り扱う。

## 3 出願手続

### (1) 出願方法

入学志願者（代理人でも差し支えない。）は、出願期間内に下記(3)の出願書類等を持参のうえ提出すること。

### (2) 出 願 先

東京都文京区大塚2丁目1番1号  
お茶の水女子大学 学務課留学生係  
{
地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅下車 徒歩5分  
地下鉄有楽町線 護国寺駅下車 徒歩5分

### (3) 出願書類等

- ア. 出願カード（志願者名票・写真票・受験票）……… 本学所定の用紙を用い、「出願カード記入上の注意」（11ページ）を参照し、記入すること。写真を貼付のこと。
- イ. 最終出身校の成績証明書、卒業証明書及び関係教官の推薦書
- ウ. 日本語による自筆の作文（1,000字以内で、留学の目的、専攻分野の内容、将来の計画等について。）
- エ. 平成7年度日本語能力試験（1級）及び平成8年度私費外国人留学生統一試験の受験票の写し
- オ. 健康診断書（本学所定の用紙を用い、出願3か月以内に作成したもの）
- カ. 出願時に日本国内に在住している者………外国人登録済証明書（在留資格・在留期間明記のもの）  
出願時に日本国外に在住している者………戸籍謄本又は出生証明書等
- キ. あて名票（合格通知その他に使用するので、本学所定の用紙に志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。郵便切手は貼付しないでよい。）
- ク. 検定料 16,000円
- ケ. 検定料納付書 ……………本学所定の「原符・領収証書」に必要事項を記入すること。
- コ. 受験票返送用封筒（本学所定の封筒に350円切手を貼付し、志願者名票の「日本国内の連絡先」の住所、氏名及び郵便番号を明記すること。）

4 出願期間

平成7年(1995年)12月11日(月)～12月19日(火) (ただし、土、日曜日を除く。)  
 [受付時間] 10時～11時30分、13時～15時

5 私費外国人留学生統一試験で受験を要する科目等

学 部	学 科	受 験 を 要 す る 科 目	受 験 を 要 す る 科 目 数
文教育学部	国 文 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・中国語学) (英文学・英語学) (仏文学・仏語学)	文 科 系	全 科 目
	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 教 育 学 科 ( 教 育 学 ) ( 心 理 学 ) 舞 踊 教 育 学 科 ( 舞 踊 教 育 学 ) ( 音 楽 教 育 学 )	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目
理学部	全 学 科	理 科 系	全 科 目
生活科学部	生 活 環 境 学 科	理 科 系	全 科 目
	人 間 生 活 学 科	文科系又は理科系のいずれかを選択	全 科 目

6 受験票の送付

- (1) 「お茶の水女子大学受験票」は、「受験者心得」とともに、平成8年(1996年)2月9日(金)頃発送する。なお、2月15日(木)を過ぎても到着しないときは、学務課留学生係へ問い合わせること。
- (2) 受験の際は、「お茶の水女子大学受験票」を必ず持参すること。

7 入学者の選抜方法

- (1) 志願者全員に本学の入学試験を課し、その結果と日本語能力試験(1級)の成績、私費外国人留学生統一試験、最終出身校の成績証明書、健康診断書等により総合して合格者を判定する。

8 本学の入学試験

- (1) 期 日 平成8年(1996年)2月25日(日)、26日(月)
- (2) 試験場 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)
- (3) 学力検査

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	国 文 学 科	国語(国語Ⅰ・Ⅱ、古典) 日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	外 国 文 学 科 (英文学・英語学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB)
	舞 踊 教 育 学 科 (舞踊教育学) (音楽教育学)	日本語 外国語(英語Ⅰ・Ⅱ・ⅡB、ドイツ語、フランス語から1か国語選択) ※ 上記学力検査のほかに、実技検査を行う。

志願する学部・学科		学 力 検 査 科 目
文 教 育 学 部	哲 学 科 史 学 科 地 理 学 科 外 国 文 学 科 (中国文学・ 中国語学) (仏文学・仏語学) 教 育 学 科 ( 教 育 学 ) ( 心 理 学 )	日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	数 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
理 学 部	物 理 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科 (物理) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	化 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科 (「化学」と「物理、生物から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 物 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 理科 (「生物」と「物理、化学から1科目選択」) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	情 報 科 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、確率・統計*) 理科・数学 (「物理」、「化学」、「生物」、 「数学 I、代数・幾何、基礎解析、微分・積分、 確率・統計*」から2科目選択) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
	生 活 環 境 学 科	数学 (数学 I、代数・幾何、基礎解析、確率・統計*) 日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)
生 活 科 学 部	人 間 生 活 学 科	日本語 外国語 (英語 I・II・II B、ドイツ語、フランス語から1か国語選択)

(注) 学力検査科目欄の外国語 (英語、ドイツ語、フランス語) は、母国語を選択することはできない。

\* 数学のうち確率・統計については、日本の高等学校学習指導要領の確率・統計の内容のうち「(1)資料の整理」、「(4)確率分布」及び「(5)統計的な推測」を除く。

(4) 実技検査

○ 舞踊教育学志望者に次の2種の検査を行う。

- ① ダンス（全員に課する）
  - ア. 与えられた基礎運動
  - イ. 創作（各種舞踊に基づいた創作も可）
- ② スポーツ（次のア～オから1種目を選択）
  - ア. 陸上競技（短距離走及び走り幅跳び）
  - イ. 器械運動（マット運動）
  - ウ. バレーボール
  - エ. バスケットボール
  - オ. テニス（硬式又は軟式）

※ 本学所定の実技関係の調査用紙「そのⅠ スポーツの選択種目に関する調査」及び「そのⅡ 舞踊と体育活動に関する調査」を本人が記入し、出願書類と一緒に提出すること。

※ 実技試験に必要な服装、靴、用具を持参のこと。

○ 音楽教育学志望者に次の検査を行う。

- ① ソルフェージュ
  - ア. 聴音：1～4声部
  - イ. 新曲視唱
- ② 声 楽  
下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。
  - （i）イタリア古典歌曲（原語）1曲を自由選択
  - （ii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及び日本歌曲1曲をそれぞれ自由選択
  - （iii）イタリア古典歌曲（原語）1曲〔（i）に同じ〕、及びアリア（原語・原調）1曲を自由選択なお、声楽は伴奏用楽譜を必要とするので、受験者は必ず楽譜（複写譜も可）に氏名を明記して出願書類と一緒に提出すること。（返却しない。）
- ③ ピ ア ノ  
下記の（i）、（ii）、（iii）のいずれか一つを選び、暗譜で演奏すること。繰返しはしないこと。
  - （i）J. S. バッハ作曲の鍵盤音楽（3分以内）から1曲を自由選択
  - （ii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びベートーヴェンのピアノソナタから一つの楽章を自由選択（ただし、緩徐楽章を除く。）
  - （iii）J. S. バッハの作品1曲〔（i）に同じ〕、及びショパンの練習曲集（作品10、作品25）から2曲を自由選択

(5) 口述試験

各学部とも口述試験を行う。

(6) 入学試験日時割

学科		日時	2月25日(日)		2月26日(月)				
文 教 育 学 部	国文学科	国語 10:00 ~ 11:40	/		日本語 10:00 S 11:40	外国語 13:10 S 14:50	口述試験 15:20 ~	/	
	舞踊教育学科 (舞踊教育学) (音楽教育学)								実技検査
	上記以外の学科								
理 学 部	数学科	数 学 10:00 ~ 11:40	数学 13:10 ~ 15:10	/	日本語 10:00 S 11:40	外国語 13:10 S 14:50	口述試験 15:20 ~	/	
	物理学科		物理・数学 13:10 ~ 16:10						
	化学科		化学・選択(物理、生物) 13:10 ~ 16:10						
	生物学科		生物・選択(物理、化学) 13:10 ~ 16:10						
	情報科学科		数学・選択(物理、化学、 生物、数学) 13:10 ~ 16:10						
生 活 科 学 部	生活環境学科	数 学 10:00 ~ 11:40	/		日本語 10:00 S 11:40	外国語 13:10 S 14:50	口述試験 15:20 ~	/	
	人間生活学科								

\* 受験上の注意等については、受験票送付の際に同封する。

## 9 合格発表

平成8年(1996年)3月8日(金)正午 学内本部棟前掲示板に発表する。

合格者には、発表当日、「日本国内の連絡先」あてに合格通知書を郵送する。

## 10 入学手続等

### (1) 入学手続日

学 部	手 続 日	手 続 時 間	手 続 場 所
全 学 部	3月12日(火)	10:00~12:00, 13:00~16:00	本学共通講義棟2号館
	3月13日(水)	"	"
	3月26日(火)	"	"
	3月27日(水)	"	"

(注) 上記「手続日」欄に示したいずれかの日時に、入学手続を行うこと。  
所定の期日までに手続をしない者は、入学を辞退した者として取り扱う。

### (2) 手続事項

提出書類	お茶の水女子大学受験票
入学料	270,000円
授業料	前期分 223,800円 [年額 447,600円] (注1) 前期分の授業料を上記手続期間中に納入しないときは、4月1日から4月30日までの間に納入することになる。 (注2) 入学手続終了者が3月31日までに入学を辞退した場合には、納付した者の申し出により当該授業料相当額を返還する。 (注3) 授業料の納付については、希望により前期分の納付の際に後期分も合わせて納付することができる。

## 11 注意事項

- (1) 提出書類に不備不足等がある場合は受理しない。また、いったん受理した書類は返却しない。
- (2) 既納の検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (3) 可否に関しての電話による問い合わせには応じない。

## 12 受験に関する問い合わせ先

お茶の水女子大学 学務課留学生係  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
☎ 03-5978-5143

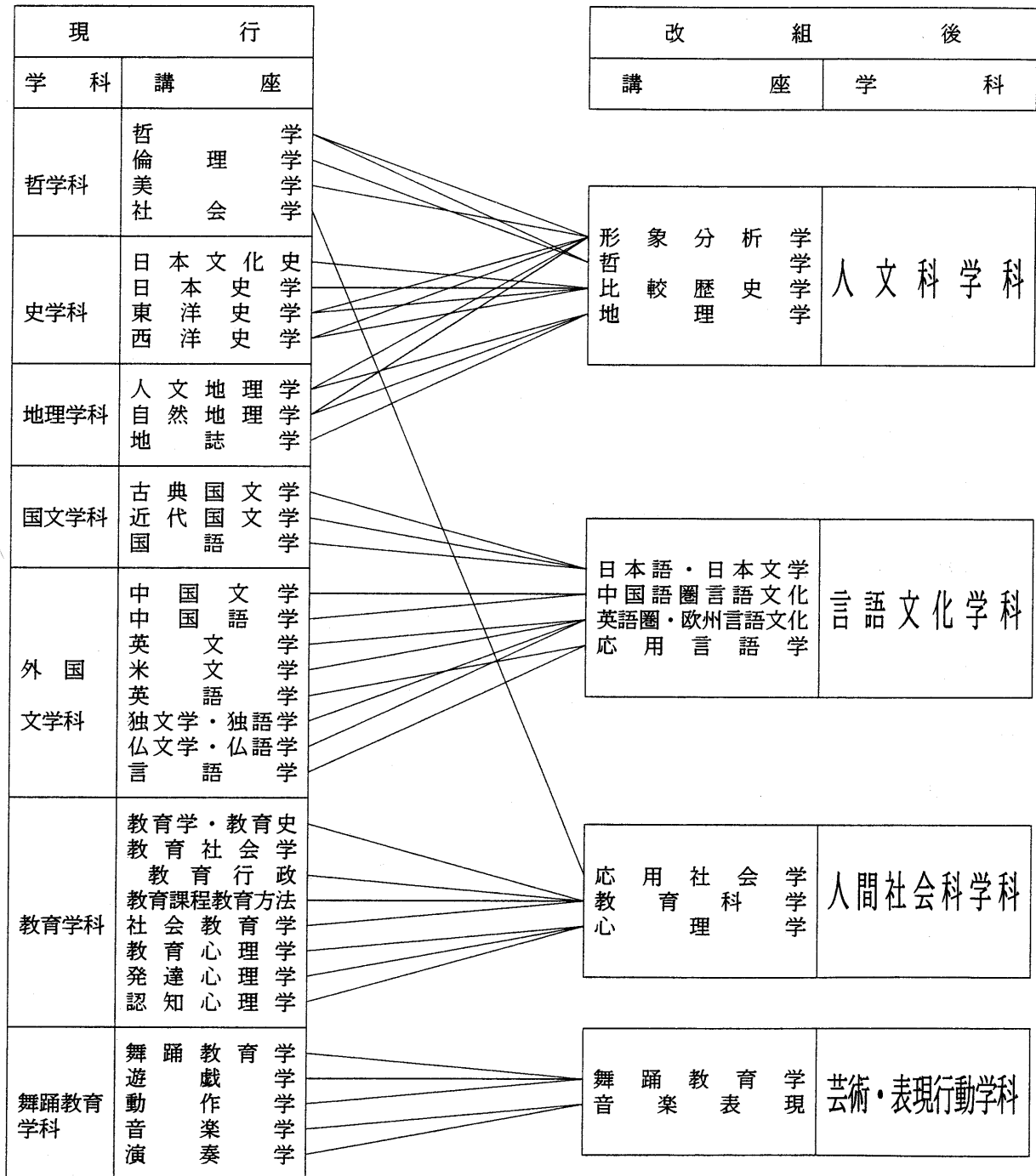
1.3 文教育学部の学科改組の予告について

文教育学部学科改組計画概要

文教育学部では、平成8年度から次のように学科の改組を計画している。この計画は、関係法令の制定及び平成8年度予算成立との関連から現在は未確定であるが、詳細は政府予算案の決定後（平成8年1月頃）「一般選抜の学生募集要項（追加）」として公表する予定である。

(1) 改組の内容

現在の7学科34講座を次のとおり4学科13大講座に改組する。





(2) 学科・講座の概要

人文科学科

様々な社会や文化にみられる相違や共通点を把握するために必要な基礎的な思考力を養成し、画像を含む幅広い資料に基づく実証的分析、時間的、空間的な総合的分析を通じ、人間の活動の本質を多角的に追求する。

講 座	講 座 の 概 要
形 象 分 析 学	建築・絵画・彫刻・工芸をはじめ、古文書・古地図・地図情報・気象情報などの画像資料について、人文科学の幅広い視野からの総合的・実証的な分析を通じ形象の意味を明らかにする。
哲 学	真、善、美をめぐる様々な問題を、哲学・倫理学などの視点から多角的に取り扱う。そのために、哲学的な思考力を養成し、倫理観の探究や倫理思想史の研究等に重点を置いた教育を行う。
比 較 歴 史 学	様々な社会や民族の違いを理解し合い共存していくために必要な歴史的な見方を研究する。従来の歴史学の方法に加えて比較の視点を重視し、分かりやすくアプローチする。
地 理 学	実在の地域に展開する人文・社会現象あるいは、その基盤である自然現象に着目し、実地の環境調査・村落調査などにより入手する一次資料に基づく実証的教育・研究を行う。

言語文化学科

人間の言語活動とそれに基づく文化現象を総合的に把握することを目指す。特に、日、中、英、仏、独のそれぞれの言語と文学及び言語文化とを、個別的に、あるいは、比較対象的に教育し研究する。

講 座	講 座 の 概 要
日 本 語 ・ 日 本 文 学	日本の古典文学、近現代文学及び日本語に関して、他地域の文学や他言語と関連しつつ、幅広く、かつ深く教育・研究を行う。
中 国 語 圏 言 語 文 化	中国古典文学、中国現代文学及び中国語を中心にして、中国、台湾、香港など広く中国語圏地域の言語と文化の教育・研究を行う。
英 語 圏 ・ 欧 州 言 語 文 化	英語、仏語及び独語の教育・研究を柱とし、それぞれの言語が地域性と関連しつつ育んできた言語文化の諸相及び各言語文化の相互関係を教育・研究する。
応 用 言 語 学	英語圏・欧州言語文化講座と連携を図りながら言語の理論面のみならずその応用面、特に母国語以外の第二言語の習得と運用の在り方について教育・研究を行う。

### 人間社会科学科

人間の行動メカニズム、社会構造と人間の関わり、人間の発達過程に、マクロ（社会構造）とマイクロ（心理・生理）の両面から科学的方法論をもって接近し、統合的な人間理解を目指す。学校、家族、職場等における諸問題の科学的分析と解決を目指した教育・研究を行う。

講 座	講 座 の 概 要
応 用 社 会 学	人間の社会的行為や現代社会の諸問題を、社会構造やその変動との関連において、理論的かつ実証的に解明し、更にそれを実際の問題解決の場面に応用できるような教育・研究を行う。
教 育 科 学	人間の生涯にわたる発達の過程に、多様な科学的方法論によってアプローチし、生涯学習社会における教育・発達問題の解決に寄与できる専門的人材の育成を目指す。
心 理 学	人間行動の科学的・総合的な理解を教育・研究の目標にしており、社会・教育・発達・臨床・認知の各領域を基礎から応用まで体系的に学ぶ。

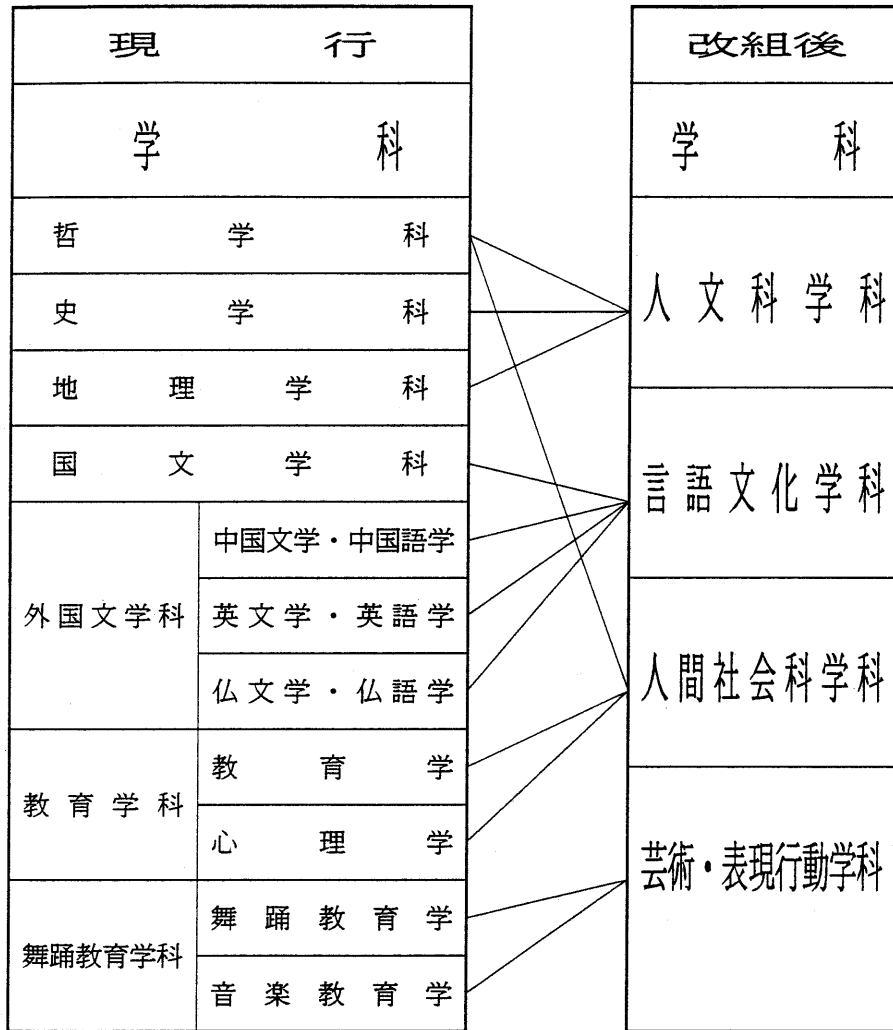
### 芸術・表現行動学科

舞踊・スポーツ、音楽の芸術・表現行動を総合科学的に捉えることによって多様な文化を理解し、併せて理論と実践を統合して現実に応用できる教育・研究を行う。

講 座	講 座 の 概 要
舞 踊 教 育 学	舞踊並びにスポーツ等の身体表現行動を理論と実践の両面から総合科学的に解明し、現実社会に応用できるような教育・研究を行う。
音 楽 表 現	芸術・表現行動を音楽表現の理論と実践両面から捉えることにより、現代の多様な文化を理解し、メディアの発達した社会生活と密接に関連した教育・研究を行う。

(3) 平成8年度文教育学部学生募集の取扱い

学科の改組が確定した場合は、次のとおり対応する改組後の学科に移行することとなる。



**○平成8年度お茶の水女子大学大学院理学研究科（修士課程）  
（社会人特別選抜を含む）第2次学生募集要項**

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 大学3年生で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者  
（ただし、情報科学専攻を除く）
- (5) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

2. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
数 学	若干名	2月1日（木） 9:15～11:15 11:30～12:30 13:30～15:30 16:30～	一般・基礎教育科目（微積分・線形代数・位相空間） 外国語（英語） 専門科目（数 学） 口述試験
物 理 学	若干名	2月1日（木） 9:00～11:30 12:30～15:00  17:30～	力学、電磁気学、物理数学（各1問、計3問） 熱・統計力学、量子力学 （各1問）（選択問題3問の中から1問を選択）（計3問） 口述試験
生 物 学	若干名	2月1日（木） 10:00～12:00 13:00～15:00 15:30～	外国語（英語） 専門科目（生物学の諸分野から出題した中から4問を選択） 口述試験
情報科学	若干名 *（社会人 者名誌）	2月1日（木） 10:00～12:00 13:00～16:00 16:30～	外国語（英語）及び一般・基礎教育科目（微積分・線形代数） 専門科目（情報科学の諸分野より出題した中から3問選択） 口述試験

\* 社会人は「社会人特別選抜」募集要項による。

4. 出願期間

平成8年1月8日（月）から平成8年1月12日（金）まで。  
なお、郵送する場合は、必ず書留で『大学院理学研究科入学願書』と朱書すること。  
（1月12日消印有効）

## 5. 出願手続

### (1) 願書受付

ア 場 所 お茶の水女子大学理学部事務部  
〒 112 東京都文京区大塚 2 丁目 1 番 1 号  
☎ 03 ( 5978 ) 5287~8  
イ 時 間 午前 9 時から午後 3 時まで

### (2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書（本学所定の用紙）
- イ 卒業（又は見込）証明書
- ウ 健康診断書（本学所定の用紙）
- エ 調 査 書（本学所定の用紙）
- オ 検定料 28,000 円（現金又は郵便為替）
- カ 検定料納付書（本学所定の用紙）
- キ 受験承諾書 在職者及び他の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。  
（様式随意）
- ク 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、80円切手を貼った定型郵便物用封筒（長形 3 号）を同封すること。

## 6. 合格者の発表

- (1) 2 月 8 日（木）正午の予定。理学部 1 号館内掲示板に掲示する。  
合格通知書は、理学部 2 号館事務部で受験票を確認の上、交付する。（合格者の代理人でも差し支えない。）なお、当日、受領できない者については郵送する。
- (2) 入学手続関係書類は、平成 8 年 3 月中旬に送付する。

## 7. 入学料及び授業料

- (1) 入 学 料 270,000円
- (2) 授業料年額 447,600円

## 8. そ の 他

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、190 円切手を貼った角型 2 号封筒(33 cm×24cm ) を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒（切手貼付）を同封し、必ず返信先を明記すること。

## 9. 大学所在地案内

都営バス 大塚 2 丁目停留所前  
地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅 徒歩約 5 分  
" 有楽町線 護国寺駅（音羽口）徒歩約 5 分

## 理学研究科（修士課程）社会人特別選抜 第2次学生募集要項

### 1. 募集の趣旨

お茶の水女子大学の理学研究科（修士課程）では、平成6年度から情報科学専攻が設置されました。急速に進歩する情報化社会の要求に応えるため、この専攻では、企業や学校に在職のまま、あるいは家庭での仕事を続けながらも修士の学位が取得できるように、社会に出た女性のための高等教育への道をひらくこととし、ここに昼夜開講制を伴う社会人特別選抜を実施するものです。

### 2. 募集人員

情報科学専攻 若干名

### 3. 出願資格

次のいずれかに該当し、平成8年4月までに2年以上の社会経験を経た女子とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院が認めた者

### 4. 選抜方法及び学力検査

入学者の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書、希望する研究課題の内容等を総合して決定する。

試験日時	2月1日（木）	10:00～12:00 14:00～	外国語（英語）及び一般・基礎教育科目 （微積分・線形代数） 口述試験
------	---------	-----------------------	--

試験場所 お茶の水女子大学

### 5. 出願期間

平成8年1月8日（月）から平成8年1月12日（金）まで。

なお、郵送する場合は、必ず書留で『大学院理学研究科入学願書』と朱書すること。

（1月12日消印有効）

### 6. 出願手続

#### (1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
☎ 03（5978）5287～8  
イ 時間 午前9時から午後3時まで

#### (2) 提出書類等

- ア 志願者名票、受験票及び履歴書（本学所定の用紙）
- イ 志望理由書（本学所定の用紙）
- ウ 卒業証明書
- エ 調査書（本学所定の用紙）
- オ 受験承諾書（本学所定の用紙、任命権者又は所属企業等の長が作成したもの）
- カ 健康診断書（本学所定の用紙）
- キ 検定料 28,000 円（現金又は郵便為替）
- ク 検定料納付書（本学所定の用紙）

ケ 返信用封筒 郵送の場合に限り、あて先を明記して、80円切手を貼った定型郵便物用封筒（長形3号）を同封すること。

#### 7. 合格者の発表

- (1) 2月8日（木）正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示する。  
合格通知書は、理学部2号館事務部で受験票を確認の上、交付する。（合格者の代理人でも差し支えない。）なお、当日、受領できない者については郵送する。
- (2) 入学手続関係書類は、平成8年3月中旬に送付する。

#### 8. 入学科及び授業料

- (1) 入 学 料 270,000円
- (2) 授業料年額 447,600円

#### 9. そ の 他

- (1) 出願後、書類の変更及び検定料の払戻は行わない。
- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、190円切手を貼った角型2号封筒(33cm×24cm)を同封すること。
- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒（切手貼付）を同封し、必ず返信先を明記すること。

#### 10. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前  
地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅 徒歩約5分  
" 有楽町線 護国寺駅（音羽口）徒歩約5分

#### 11. 昼夜開講制と教育方法の特例について

情報科学専攻では社会人を対象に大学院設置基準第14条の規定による教育方法の特例として昼夜開講制を行うこととし、その概略は次のとおりである。

修士課程の2年のうち、前半の1年間は原則として本学での履修を必要とするが、後半の1年間はスクーリングのしばりを大幅に緩和したかたちで研究指導をうけながら、修士論文を作成することになる。しかし、特別の事情のある場合は、最初の1年間も夏休みなどの活用によって、かなり柔軟な学習形態をとることもできる。

このように、指導教官の指導のもとに受講計画、研究計画について個々に柔軟に対応することができる。

## 理学研究科（修士課程）各専攻の研究概要

### 1. 数 学 専 攻

志望区分	担 当 教 官	主 な 研 究 分 野
数 A (解析学)	教授*高 村 幸 男 教授渡 辺 幸 子 教授真 島 秀 行 助教授真 前 田 秀 行 助教授松 崎 克 彦	関数解析と偏微分方程式 ポテンシャル論 微分方程式論 測度論 複素解析学
数 B (代数学)	教授藤 原 正 彦 助教授榎 本 正 彦 助教授小 木 曾 啓 示	数 論 群論及び表現論 代数幾何学
数 C (幾何学)	教授小 川 洋 輔 教授塚 野 和 美 助教授小 野 薫	微分幾何 微分幾何 微分幾何及び位相幾何

\* 本年度生の研究指導は行わない。

### 2. 物 理 学 専 攻

志望区分	担 当 教 官	主 な 研 究 分 野
理 論	教授柴 田 文 明 教授太 田 隆 晶 助教授菅 本 井 雅 哲 助教授*森 川 雅 哲 助教授出 口 博 生	非平衡統計力学、量子光学、量子通信理論 物性理論、非平衡開放系の理論 素粒子論 物理学史 宇宙物理学 物性基礎論、可解格子模型の理論と応用
実 験	教授*田 中 翠 教授伊 藤 厚 靖 教授富 永 子 徳 教授浜 谷 望	磁性体の構造と相転移 ランダム磁性体の静的・動的構造及び相転移 誘電体・水溶液系のラマン分光と誘電分散 極限条件下の物質構造と相転移

\* 本年度生の研究指導は行わない。

\*\* 本試験による入学生の研究指導は行わない。ただし、飛級生を除く。



### 3. 生物学専攻

担当教官	主な研究分野
教授 清水 碩 教授 石和 貞 男 教授 馬場 昭 次 教授 山下 貴 司 教授 芦原 坦 助教授 林 正 男 助教授 根本 心 一	植物の老化、クロロフィルの代謝 ショウジョウバエを主とした進化遺伝学、分子遺伝学 繊毛運動の生理学 単子葉植物の発生と系統 高等植物の代謝制御機構の解析 高等動物の細胞生物学、フィブロネクチン、ビトロネクチン、がん転移 棘皮動物を主とした卵成熟と発生機構 (主に臨海実験所で研究)
講師 室伏 きみ子 講師 松浦 悦 子 講師 最上 善 広	真核細胞の生化学、細胞増殖制御 核外遺伝子系の複製と発現の制御機構 生体運動の制御機構

(注) 生活環境研究センター教官の指導を受けることができる。  
なお、このことについては生物学科主任に問い合わせること。

### 4. 情報科学専攻

志望区分	担当教官	主な研究分野
情報数理	教授* 小 山 敏 子 教授 笠 原 勇 二 教授 竹 尾 富 貴 子 助教授 吉 田 裕 亮 子 助教授 浅 本 紀 子	離散数学・群論 確率論 情報解析学・作用素論 応用解析学・作用素環論 離散数学・文書処理系
情報処理	教授 佐 藤 浩 史 教授 細 矢 治 夫 助教授 長 嶋 雲 兵 助教授 藤 代 一 成 助教授 粕 川 正 充	数値解析・計算物理学 グラフ理論の化学への応用・情報化学 計算化学・並列分散処理 コンピュータグラフィックス・データベース ヒューマンインターフェイス

\* 本年度生の研究指導は行わない。

## 大学院理学研究科概要

### 1. 目 的

お茶の水女子大学大学院は、本学の目的使命に則り、高度の専門学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

### 2. 履修方法及び課程の修了

- (1) 各専攻の授業科目（別表）について、30単位以上修得しなければならない。  
ただし、指導教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合には、指導教官が指定した他の専攻、他研究科又は学部の授業科目を履修し、これを修士課程の単位とすることができる。
- (2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。

### 3. 学位の授与

理学研究科の課程を修了した者には、本学学位規則により「修士（理学）」の学位を授与する。

### 4. 授業科目一覧

#### 数学専攻

授 業 科 目	単位数		
		応用数理構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
		実解析特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
数 学 特 論Ⅰ～Ⅳ	各 2	複素解析特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
代数構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	関数解析特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
整数構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	関数方程式特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
離散構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	確率統計解析特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
位相構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	代数解析特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
幾何構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	応用数理解析特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
多様体構造特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	数 学 講 究Ⅰ～Ⅴ	各 16

#### 物理学専攻

授 業 科 目	単位数		
		統計力学特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
		素粒子特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
数理物理学特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	原子核特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
基礎物理学特論Ⅰ～Ⅹ	各 2	固 体 特 論Ⅰ～Ⅵ	各 2
計算物理学特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	磁性体特論Ⅰ～Ⅳ	各 2
物性物理学特論Ⅰ～Ⅹ	各 2	物 理 学 特 論Ⅰ～ⅩⅤ	各 2
宇宙物理学特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	現代物理学特論Ⅰ～Ⅹ	各 2
量子物理学特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	現代物理学演習Ⅰ～Ⅹ	各 2
生物物理学特論Ⅰ～Ⅳ	各 2	特 別 研 究	14
分 子 特 論Ⅰ～Ⅳ	各 2		

化学専攻

授業科目	単位数		
		有機化学特論 I～VI	各 2
		有機化学演習 I～II	各 2
構造物理化学特論	2	生物化学特論 I～VI	各 2
反応物理化学特論	2	生物化学演習 I～II	各 2
物性物理化学特論	2	物質代謝特論 VI	2
物理化学特論 I～VI	各 2	分析化学特論 I～VI	各 2
物理化学演習 I～II	各 2	分析化学演習 I～II	各 2
無機化学特論 I～VI	各 2	機器分析特論	2
無機化学演習 I～II	各 2	構造化学特論 I～VI	各 2
無機構造化学	2	構造化学演習 I～II	各 2
天然物有機化学	2	化学特論 I～V	2
有機合成化学	2	特別研究	14

生物学専攻

授業科目	単位数		
		植物生理学特論 I～III	各 2
		遺伝学特論 I～III	各 2
動物形態学特論	2	発生生物学特論	2
動物発生学特論 I～II	各 2	生化学特論	2
動物生理学特論	2	生物学特論 I～XX	各 2
細胞生理学特論	2	生物学演習 I～X	各 2
細胞生物学特論 I～III	各 2	特別研究	14
植物形態学特論 I～II	各 2		

情報科学専攻

授業科目	単位数		
		データベースシステム特論	2
		データベースマシン特論	2
情報理論特論	2	科学情報システム特論	2
情報構造特論	2	ビジュアルコンピューティング特論	2
エントロピー特論	2	人間機械系特論	2
情報数学特論	2	文書処理系特論	2
情報解析学特論	2	人工知能特論	2
数理情報学特論	2	数理科学特論	2
離散数学特論	2	計算物理学特論	2
カテゴリー論特論	2	情報化学特論	2
確率過程特論	2	計算化学特論	2
確率解析特論	2	自然情報学特論	2
数値解析特論	2	環境情報学特論	2
非数値処理特論	2	生体情報特論	2
コンピュータ-キテクチャ特論	2	情報科学特別演習	4
計算機言語特論	2	特別研究	14

○平成8年度お茶の水女子大学大学院人文科学研究科  
(修士課程) 学生募集要項

1. 専攻及び募集人員

専攻名		募集人員	英文学専攻		7
哲学専攻	哲学 倫理学 美学 社会学	8	教育学専攻	教育学	11
				心理学	
史学専攻	日本史学 東洋史学 西洋史学	7	舞踊教育学専攻	舞踊教育学 遊戯学 動作学	10
				音楽学 演奏学	
地理学専攻		6			
日本文学専攻		6	※日本語文化専攻		7
中国文学専攻		3	合計		65

※ 在職社会人の募集は、平成7年10月に実施済み。

2. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成8年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (3) 文部大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (4) 本研究科において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

3. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付
- (2) 卒業(又は見込み)証明書
- (3) 推薦書 指導教官又は主任教官等により作成されたもの(形式随意)
- (4) 調査書 用紙は本学で交付
- (5) 健康診断書 用紙は本学で交付
- (6) 写真 正面上半身の名刺型で、出願前3か月以内に撮影した同じものを願書の指定欄に貼付

(7) 受験票 郵送で出願する場合に限り、定型（長型3号）封筒に宛名を明記し  
返送用封筒 350円切手を貼付

(8) 受験承諾書 他大学の大学院に在学中の者は学長又は研究科長の受験承諾書  
在職中の者は所属長の受験承諾書

(9) 検定料 28,000円

前記書類等を一括し、所定の期日までに本学に提出のこと。ただし、郵送するときは書留速達郵便とし、検定料は郵便為替で、受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記し、封筒に「大学院人文科学研究科入学願書」と朱書きすること。

なお、日本語文化専攻を受験する者は、次の書類を含めて所定の期日までに本学に提出のこと。

(10) 研究報告・計画書 大学における卒業論文・卒業研究の内容及び将来の研究計画を3,000字以内にまとめたもの（用紙は本学で交付）

#### 4. 出願期間・願書受付場所

(1) 出願期間 平成8年1月5日（金）から1月11日（木）まで。  
ただし、土曜日、日曜日を除く。  
午前 9時から11時30分 午後 1時から3時  
郵送の場合は締切日までの消印有効

(2) 受付場所 お茶の水女子大学文教育学部事務部（文教育学部1号館）  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
（地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅、有楽町線護国寺駅又は都バス大塚二丁目下車）

#### 5. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験（実技を含む）、調査書、健康診断書等（日本語文化専攻にあっては、研究報告・計画書を含む。）の結果を総合して行う。

(1) 選考期日 平成8年2月1日（木）～2月2日（金）  
※日本語文化専攻のみ 平成8年2月1日（木）～2月3日（土）

(2) 筆記試験・口述試験時間割

専攻名等		2月1日(木) 筆記試験		2月2日(金) 口述試験 (注3) 10:00～	備考
		外国語 10:00～11:30	専門科目 13:00～15:00		
哲学専攻	哲学	英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。ただし、中国文学専攻志望者が中国語を、英文学専攻志望者が英語を選択することはできない。(注1)	哲学	左の専門科目及び英・独・仏語のうち左記外国語試験で選択しなかった1か国語(注1)	<p>学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。(注4)</p> <p>なお、地理学専攻及び教育学専攻教育学にあっては、研究計画書を必ず提出すること。(注5)</p>
	倫理学		倫理学		
	美学		美学		
	社会学		社会学		
史学専攻	日本史学		日本史学	東洋史学	
	東洋史学		東洋史学	西洋史学	
	西洋史学		西洋史学	地理学	
地理学専攻			国文学及び国語学	中国語学及び中国文学	
日本文学専攻			英語・英語学及び英米文学	教育学	
中国文学専攻			心理学	心理学	
英文学専攻		舞踊学及び論文 論文は志望する専攻出題の課題を選択する。 (注2)	舞踊実技を選択とする。	実技を選択する者は出願時に申し出ること。	
教育学専攻	教育学				
	心理学	西洋音楽史 又は 日本音楽史	演奏実技(任意の楽器又は声、曲目は自由)を課する。	<p>学士論文提出可能な者は願書と同時に提出すること。(注4)</p> <p>論文に代わるものとして演奏を行った者は、卒業試験演奏曲目を提出すること。</p>	
舞踊教育学専攻	舞踊教育学				
	遊戯学				
	動作学				
音楽学		10分程度の演奏実技(曲目は自由)を課する。			
演奏学					

専攻名	2月1日(木) 筆記試験		2月2日(金) 2月3日(土) 口述試験 10:00～	備考
	外国語 10:00～11:30	専門科目 13:00～15:00		
日本語文化専攻	英・独・仏・中国語の中から1か国語を選択する。(注1)	日本語文化学 日本語教育学	主に研究報告・計画書、にもとづいて行う。	

注1. 外国語の選択科目については、出願の際届け出るものとする。

注2. 舞踊教育学専攻(舞踊教育学、遊戯学、動作学)志望者に課す専門科目の論文は、志望する専攻に応じ課題のうちから選択し、論文(2,000字程度)を作成する。

注3. 口述試験は、主として志望する専攻又は学士論文について行う。

注4. 学士論文を提出できない事情のある者は、その旨申し出ること。

注5. 地理学専攻については、研究計画書(様式自由 800字以内)を、また教育学専攻教育学については、研究計画書(様式自由 2,000字以内)をそれぞれ提出すること。

(3) 試験場所 お茶の水女子大学(東京都文京区大塚2丁目1番1号)

6. 入学科及び授業料 入学科 270,000円 授業料(年額) 447,600円

7. 合格者発表 平成8年2月8日(木)12時頃、文教育学部掲示板に氏名を掲示する。  
合格通知書は、文教育学部事務部で受験票を確認のうえ交付する。都合により来学できない合格者には、2月9日(金)に合格通知書を郵送する。

#### 8. 注意事項

(1) 出願書類等の郵送を希望する者は、270円切手を貼った返信用封筒角型2号に宛名を明記したものを同封し、封筒の表に「人文科学研究科出願書類請求」と朱書きして、本学「文教育学部事務部」へ請求すること。

(2) 出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しは行わない。

(3) 合格、不合格に関する問い合わせには一切応じない。

(4) 「外国人留学生」に関しては、出願書類等が異なるため、本学「学生部学務課留学生係」が取扱うので、同係に問い合わせること。

お茶の水女子大学 〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

☎ (03)5978-5162・5163 (文教育学部事務部)

☎ (03)5978-5143 (学務課留学生係)

## お茶の水女子大学大学院人文科学研究科修士課程概要

### 1. 目的及び使命

本学大学院は本学の目的、使命に則り、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。

### 2. 修業年限                    2 年

### 3. 専攻及び入学定員

人文科学研究科に次の専攻を置き、入学定員は次のとおりとする。

専攻名	入学定員	総定員	専攻名	入学定員	総定員
哲学専攻	8	16	英文学専攻	7	14
史学専攻	7	14	教育学専攻	11	22
地理学専攻	6	12	舞踊教育学専攻	10	20
日本文学専攻	6	12	日本語文化専攻	12	24
中国文学専攻	3	6	計	70	140

### 4. 授業科目履修方法及び課程の修了

(1) 学生は2年以上在学し、それぞれの専攻の授業科目について30単位以上履修しなければならない。

ただし、研究指導を担当する教官が当該学生の研究上特に必要と認めた場合に限り、他大学の大学院\*、及び本学の他の専攻、他研究科又は学部の授業科目を指定して履修させ、これを当該専攻の単位とすることができる。

\*現在、奈良女子大学大学院や東京工業大学大学院のほか本学中国文学専攻と東京大学大学院人文社会系研究科アジア文化研究専攻中国語中国文学専門分野との間において学生交流（単位互換）を行っている。

なお、平成8年度から本学哲学専攻及び教育学専攻と東京大学大学院教育学研究科との間で、学生交流（単位互換）を実施する予定である。

(2) 課程の修了には、2年以上在学し、所要の単位を修得し、かつ学位論文を提出して最終試験に合格しなければならない。

### 5. 学位授与

本研究科において、課程を修了した者に対しては、修士（人文科学）の学位を授与する。





専攻	授 業 科 目		担 当 教 官	
教 育 学	教育学	教育学特論・教育社会学特論・教育行政学特論・教育方法学特論・教育経営学特論・教育社会学特論・教育文化人類学特論	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	道武明夫修 剛行子 浩 寛隆 (定) 光真砂 野込塚 原(未川野中 上駒耳森宮 小鷹田
	心理学	心理学特論・心理学特論・心理学特論・心理学特論・心理学特論・心理学特論・心理学特論・心理学特論	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	史章喬子彰 俊 伸 藤元日田口 内坂春内石
舞踊教育学専攻	舞踊	舞踊学特論・舞踊学特論・舞踊学特論・舞踊学特論・舞踊学特論・舞踊学特論・舞踊学特論・舞踊学特論	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	子子夫進子み 康郁秀 節はる 岡田賀山黒下 片本加杉石森
	音楽	音楽学特論・音楽学特論・音楽学特論・音楽学特論・音楽学特論・音楽学特論・音楽学特論・音楽学特論	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	彦三郎子 吉惠秀廣 丸原藤 徳永遠林
日本語文化専攻	日本語文化学特論・日本語文化学特論・日本語文化学特論・日本語文化学特論・日本語文化学特論・日本語文化学特論・日本語文化学特論・日本語文化学特論	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	人子彦眸朗子郎江直子 津奈和 悦逕勇静俊伸定 木澤友崎田郷口根村田(未 三西長岡平本大海中内	
関連科目	独 文 学 特 論 ・ 演 習 仏 文 学 特 論 ・ 演 習	教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	二健宏子弓 昭 弓真 丸野川村田 石菅石中村	

# 諸 報

## ○平成7年9月卒業式及び学位記授与について

平成7年9月卒業式及び学位記授与式が9月29日（金）人間文化研究科会議室で  
 挙行された。

- ・ 卒業者数 (4名)
  - 文教育学部 2名
  - 理 学 部 1名
  - 家 政 学 部 1名
- ・ 修了者数 (11名)
  - 修士課程 人文科学研究科 7名
  - 家政学研究科 4名
  - 博士課程 人間文化研究科 4名

## ○学 位 授 与

(課程修了によるもの)

授与番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	氏 名	本 籍	論 文 題 名
甲第44号	博士（人文科学）	平成7年9月29日	尹 素 英	大韓民国	転換期の朝鮮の対外認識と対外政策 －朴珪寿を中心に－
甲第45号	博士（人文科学）	平成7年9月29日	秋 山 喜代子	山 梨 県	中世的主従関係の研究
甲第46号	博士（人文科学）	平成7年9月29日	金 文 子	大韓民国	文禄・慶長期における日明和議交渉と朝鮮
甲第47号	博士（人文科学）	平成7年9月29日	齋 藤 薫	神奈川県	留岡幸助における「独立自営」の思想と実践 －わが国の感化教育理念の形成－

(論文提出によるもの)

授与番号	博士の専攻分野の名称	授与年月日	氏 名	本 籍	論 文 題 名
乙第42号	博士（理 学）	平成7年9月29日	佐 藤 知 子	神奈川県	血小板フィブリノーゲン受容体阻害剤テトラフペプリシン －その受容体拮抗作用メカニズムに関する研究－
乙第43号	博士（人文科学）	平成7年9月29日	石 田 英 子	広 島 県	認知相関による性別アイデンティティ指標の開発 －新しいパーソナリティ測定モードの開発をめざして－
乙第44号	博士（人文科学）	平成7年9月29日	皆 川 美 恵 子	埼 玉 県	『頼梅隠日記』にみる儒教家庭の家祭

# 人 事

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	異動前の所属・官職
7. 9. 1	市川 志乃布	助手（文教育学部）	採 用	
7. 9. 5	太 田 次 郎	附属図書館長事務代理（免）	公の名称	（学長）
7. 9. 20	浜 村 知 枝	休職期間更新 期間 7.12.31まで	休 職	（庶務課）
7. 10. 1	伊 藤 武	文部事務官（庶務課）	採 用	
”	石 井 文 弘	文部事務官（会計課）	”	
”	川野 由美子	学務課長	配 置 換	筑波大学総務部広報 調査課長
”	筋 忠 男	京都工芸繊維大学厚生課長	”	学務課長
”	松 崎 克 彦	助教授（理学部）	昇 任	東京工業大学助手 理学部数学科共通
”	土 屋 賢 二	評議員 併任期間 9.9.30 まで	併 任	（文教育学部教授）
”	平野 由紀子	評議員 併任期間 9.9.30 まで	”	”
”	田中 眞砂子	評議員 併任期間 9.9.30 まで	”	”
”	石 和 貞 男	評議員 併任期間 9.9.30 まで	”	（理学部教授）
”	藤 原 正 彦	評議員 併任期間 9.9.30 まで	”	”
”	平 野 恒 夫	評議員 併任期間 9.9.30 まで	”	”

◎非常勤職員

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 9. 30	新井 りいぞ	事務補佐員 (学生課)	辞職		
"	朴 承民	事務補佐員 (附属図書館)	"		
"	野村 実香	教務補佐員 (文教育学部)	"		
"	森本 泉	"	"		
"	川久保 綾子	"	"		
7. 10. 1	清水ちづ子	事務補佐員 (附属中学校)	採用	8. 3. 31	
"	渋谷理代子	事務補佐員 (附属図書館)	"	8. 2. 29	
"	本田典子	事務補佐員 (文教育学部)	"	8. 3. 31	
"	田代琴恵	"	"	"	
"	佐藤 由美子	教務補佐員 (文教育学部)	"	"	
"	白波瀬佐和子	教務補佐員 (生活科学部)	"	"	
"	平田 玲子	"	"	"	
"	根本 由香	"	"	"	
"	古谷 恵子	"	"	"	
"	内藤 由起子	"	"	"	
"	浅原 利絵子	ティーチング・アシスタント (文教育学部)	"	8. 2. 29	
"	池田 あゆみ	"	"	"	
"	若麻績 明里	"	"	"	
"	森 理恵	"	"	"	

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 10. 1	栢井 里美	ティーチング・アシスタント (文教育学部)	採用	8. 2. 29	
"	宇佐見 尚子	"	"	"	
"	曹 敏	"	"	"	
"	小林 英里	"	"	"	
"	田森 三佳子	"	"	"	
"	藤井 美保子	"	"	"	
"	高比良美詠子	"	"	"	
"	平田 友子	"	"	"	
"	木村 直美	"	"	"	
"	吉本 春子	"	"	"	
"	内田 安伊子	ティーチング・アシスタント (大 学院人文科学研究科)	"	"	
"	関 麻由美	"	"	"	
"	小林 由佳	ティーチング・アシスタント (理学部)	"	"	
"	萩田 真理子	"	"	"	
"	杉本 真貴子	"	"	"	
"	藤井 香澄	"	"	"	
"	青木 真由美	"	"	"	
"	遠藤 理佳	"	"	"	
"	宮坂 佳絵	"	"	"	

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	任 期	備 考
7. 10. 1	山 岸 陽 子	ティーチング・アシスタント (理学部)	採 用	8. 2. 29	
"	磯崎 久美子	"	"	"	
"	土 井 麻 子	"	"	"	
"	佐藤 美知留	"	"	"	
"	矢 野 郁 子	"	"	"	
"	松 本 由 紀	"	"	"	
"	山本 恵理子	"	"	"	
"	新居 由佳子	"	"	"	
"	氣 多 恵 子	ティーチング・アシスタント (大 学院人間文化研究科)	"	"	
"	和 田 祐 子	"	"	"	
"	米 田 敦 子	"	"	"	
"	村 尾 美 緒	"	"	"	
"	三 林 真 弓	"	"	"	
"	橋 野 朋 子	事務補佐員 (文教育学部)	任用更新	8. 3. 31	
"	原 田 和 正	教務補佐員 (理学部)	"	"	
"	梅 澤 典 子	教務補佐員 (生活科学部)	"	"	
"	内 村 理 奈	"	"	"	
7. 10. 15	原 田 和 正	教務補佐員 (理学部)	辞 職		
7. 10. 16	長 尾 憲 治	教務補佐員 (理学部)	採 用	8. 3. 31	

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 10. 23	山中 洋子	臨時用務員 (学生課)	採用	8. 3. 31	
7. 10. 26	木村 和代	事務補佐員 (会計課)	”	8. 3. 31	
7. 10. 31	長尾 憲治	教務補佐員 (理学部)	辞職		
”	武藤 奈美	事務補佐員 (施設課)	”		



◎非常勤講師

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 9. 5	上明戸 博子	講師（附属小学校）	採用	7. 9. 7	
”	鳴原 操	”	”	”	
7. 9. 30	草間 時武	講師（理学部）	辞職		
”	関口 英子	”	”		
”	河村 哲也	”	”		
7. 10. 1	西野 真由美	講師（文教育学部）	併任	8. 3. 31	国立教育研究所研究員
”	山梨 絵美子	”	”	”	東京国立文化財研究所主任研究官
”	奥山 敏雄	”	”	”	筑波大学助教授
”	鈴木 ゆり子	”	”	”	東京外国語大学講師
”	寺島 孝一	”	”	”	東京大学助教授
”	渡辺 真紀子	”	”	”	東京工業大学助教授
”	山本 茂	”	”	”	埼玉大学教授
”	上野 和彦	”	”	”	東京学芸大学教授
”	斉藤 功	”	”	”	筑波大学教授
”	下村 哲夫	”	”	”	筑波大学教授
”	山本 義春	”	”	”	東京大学講師
”	成田 十次郎	”	”	”	筑波大学教授
”	窪田 真二	”	”	”	筑波大学助教授

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	任 期	備 考
7. 10. 1	小 池 寿 子	講師（文教育学部）	採 用	8. 3. 31	文化女子大学助教授
”	岡村 多佳夫	”	”	”	東京造形大学助教授
”	佐藤 真理人	”	”	”	早稲田大学教授
”	丸山 裕美子	”	”	”	
”	栗 田 尚 弥	”	”	”	
”	石 川 寛	”	”	”	
”	生井澤 幸子	”	”	”	
”	柴 田 弘 捷	”	”	”	専修大学教授
”	宮 下 孝 広	”	”	”	白百合女子大学助教授
”	中村 緋紗子	”	”	”	
”	浦 達 也	”	”	”	江戸川大学教授
”	松田 千枝子	”	”	”	作新学院大学助教授
”	岡 崎 友 典	”	”	”	放送大学学園助教授
”	飽 田 典 子	”	”	”	愛知みずほ大学助教授
”	松 平 信 久	”	”	”	立教大学教授
”	安 藤 清 志	”	”	”	東京女子大学教授
”	遠 藤 利 彦	”	”	”	聖心女子大学講師
”	石 井 巖	”	”	”	立教大学教授
”	大 道 等	”	”	”	国際武道大学助教授

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 10. 1	石原忠興	講師（文教育学部）	採用	8. 3. 31	国立音楽大学教授
"	石井達朗	"	"	"	慶応義塾大学教授
"	松田義幸	"	"	"	
"	林恒明	"	"	"	日体幼稚園長
"	関根有子	"	"	"	東京音楽大学教授
"	薦田治子	"	"	"	
"	石弘之	"	"	"	
"	アルフォンソ・デーケン	"	"	"	上智大学教授
"	山崎章郎	"	"	"	聖ヨハネ会総合病院桜町病院部長
"	五條しおり	"	任用更新	"	聖徳学園短期大学助教
"	山道陵子	"	"	"	
"	小松彦三郎	講師（理学部）	併任	"	東京大学教授
"	川又雄二郎	"	"	"	東京大学教授
"	田中勝人	"	"	"	一橋大学教授
"	青木勝敏	"	"	"	工業技術院物質工学工業技術研究所 高圧化学研究室長
"	西田雄三	"	"	"	山形大学教授
"	奈良坂紘一	"	"	"	東京大学教授
"	守隆夫	"	"	"	東京大学教授
"	西野栄正	"	"	"	千葉大学助教

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異動区分	任 期	備 考
7. 10. 1	井 上 圭 三	講師 (理学部)	併 任	8. 3. 31	東京大学教授
"	戸 塚 績	"	"	"	東京農工大学教授
"	田 仲 可 昌	"	"	"	筑波大学教授
"	大 森 正 之	"	"	"	東京大学教授
"	片 桐 千 明	"	"	"	北海道大学教授
"	寶 来 正 子	"	"	"	東京工業大学助教授
"	西 原 清 一	"	"	"	筑波大学教授
"	清 木 康	"	"	"	筑波大学助教授
"	鷹 野 澄	"	"	"	東京大学助教授
"	三 宅 洋 一	"	"	"	千葉大学教授
"	清 田 正 夫	"	"	"	東京医科歯科大学教授
"	美 宅 成 樹	"	"	"	東京農工大学教授
"	池 上 高 志	"	"	"	東京大学助教授
"	林 利 彦	"	"	"	東京大学教授
"	宮 島 静 雄	"	採 用	"	東京理科大学教授
"	酒 川 秀 子	"	"	"	
"	香 取 眞 理	"	"	"	中央大学助教授
"	大 下 範 幸	"	"	"	
"	車 俊 之	"	"	"	

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 10. 1	川瀬 晃	講師(理学部)	採用	8. 3. 31	セイコー電子工業(株)顧問
"	佐藤 倫子	"	"	"	(株)東芝研究開発センター研究主務
"	溝口 元	"	"	"	立正大学教授
"	武久 慎	"	"	"	慶応義塾大学教授
"	米田 満樹	"	"	"	
"	宮田 雄平	"	"	"	日本医科大学教授
"	土屋 守正	"	"	"	東海大学助教授
"	西沢 清子	"	"	"	城西大学助教授
"	渡辺 昇	"	"	"	東京理科大学講師
"	市川 雅教	講師(家政学部)	併任	"	東京外国語大学助教授
"	中山 和郎	"	"	"	工業技術院物質工学工業技術研究所首席研究官
"	橋本 寿正	"	"	"	東京工業大学助教授
"	若林 敬子	"	"	"	人口問題研究所地域構造研究室長
"	磯貝 庄	"	採用	"	東邦大学教授
"	樋口 富壯	"	"	"	東レ(株)繊維研究所長
"	河村 洋	"	"	"	東京理科大学教授
"	木村 建一	"	"	"	早稲田大学教授
"	山中 英明	講師(生活科学部)	併任	"	東京水産大学教授
"	上野川 修一	"	"	"	東京大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 10. 1	豊田 正武	講師(生活科学部)	併任	8. 3. 31	国立衛生試験所食品部第三室長
"	河内 真紀子	"	"	"	工業技術院生命工学工業技術研究所主任研究官
"	遠藤 萬里	"	"	"	東京大学教授
"	佐藤 俊	"	"	"	筑波大学助教授
"	仲 真紀子	"	"	"	千葉大学助教授
"	高橋 道子	"	"	"	東京学芸大学助教授
"	阿藤 誠	"	"	"	人口問題研究所長
"	内野 正幸	"	"	"	筑波大学助教授
"	木村 美智子	"	採用	"	桜の聖母短期大学助教授
"	相楽 典泰	"	"	"	鹿島建設(株) 技術研究所次長
"	山口 静子	"	"	"	味素(株)食品総合研究所主任研究員
"	沖谷 明紘	"	"	"	日本獣医畜産大学教授
"	前田 美穂	"	"	"	日本医科大学講師
"	小野寺 義幸	"	"	"	
"	脇田 美佳	"	"	"	埼玉純真女子短期大学講師
"	伊藤 夏子	"	"	"	
"	真家 和生	"	"	"	大妻女子大学講師
"	養老 孟司	"	"	"	
"	大場 幸夫	"	"	"	大妻女子大学教授

発令年月日	氏名	異動内容	異動区分	任期	備考
7. 10. 1	町澤 静夫	講師（生活科学部）	採用	8. 3. 31	
〃	松原 達哉	〃	〃	〃	立正大学教授
〃	森下 みさ子	〃	〃	〃	聖学院大学講師
〃	柴崎 正行	〃	〃	〃	東京家政大学助教 授
〃	柿沼 昌芳	〃	〃	〃	
〃	高橋 洋代	〃	〃	〃	立教女学院短期大学 教授
〃	古谷野 亘	〃	〃	〃	東京都老人総合研 究所室長
〃	都村 敦子	〃	〃	〃	日本社会事業大学 教授
〃	阿部 齊	〃	〃	〃	放送大学学園教授
〃	成田 汀	〃	〃	〃	
〃	江藤 弥生	〃	任用更新	〃	文化女子大学講師
〃	松本 美鈴	〃	〃	〃	
〃	佐藤 道幸	講師（理学部）	兼担	〃	附属中学校教諭
〃	川崎 信定	講師（大学院人間文 化研究科）	併任	〃	筑波大学教授
〃	森本 雅樹	〃	〃	〃	鹿児島大学教授
7. 10. 11	窪谷 浩人	講師（理学部）	辞職		

## ○平成7年秋叙勲について

平成7年11月3日の秋の叙勲で本学名誉教授塩田三千夫氏が勲三等旭日中綬賞を受賞されました。

## ○訃報

### 伊関兼四郎名誉教授

伊関兼四郎氏には病気のため平成7年9月25日逝去されました。享年75才。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

なお、生前の功績により正四位に叙されました。

### 伊 関 兼四郎 元名誉教授略歴等

生年月日	大正9年9月24日生まれ
略 歴	昭和18年9月 東京帝国大学理学部卒業
	昭和20年9月 東京帝国大学大学院修了
	昭和20年10月 東京帝国大学助手
	昭和21年4月 津田塾専門学校教授
	昭和24年4月 津田塾大学助教授
	昭和25年3月 お茶の水女子大学助教授
	昭和31年12月 お茶の水女子大学教授
	昭和48年10月 お茶の水女子大学評議員 (～49. 10)
	昭和54年10月 お茶の水女子大学評議員 (～56. 9)
	昭和61年3月 お茶の水女子大学停年退職
	昭和61年4月 お茶の水女子大学名誉教授
	平成7年9月 逝去

研究業績 専門とする解析学的理論、実関数論の分野において、「フビニの定理とグリーンの公式」「数の約数問題」「虚二次体」「ヴィダリの被覆定理」「曲線」「表面積」「ダンジョウ積分」等に関する独創的な研究結果を得た。これらは、同人特有の鋭い数学的感覚と緻密な研究によるものであり、その成果は国内のみならず国際的にも高く評価された。中でも、同人は、「表面積」の理論における実解析的手法による、曲線及び曲面積の研究に力を入れ、他に類をみない多くの興味ある結果を得ている。

著 書 等	A Proof of a Transformation Formula in the Theory of Partition. J. Math. Sci. Japan. 4, 14-26	1952
	On a Variant of Hausdorff Measure-bend. Proc. Japan Acad.38, 177-182,	1962
	On Quasi-Denjoy Integration. Proc. Japan Acad. 38, 252-257,	1962
	その他著書、論文等多数	



○研 修

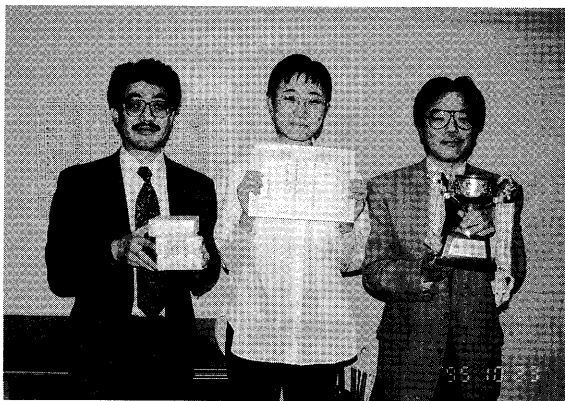
名 称	実施日時	対 象 者	修 了 者	主 催
第46回文部省会計事務特別研修	平成7年9月18日 ～ 10月6日	会計事務に従事し、かつ、 1年以上会計事務の経験を有 する者又はそれに相当する者 で、原則として25歳以上30歳 以下の者	会計課・出納係 丸山 彰英	文 部 省
平成7年度六大学等事務系 中堅職員研修 (東京医科歯科大学、東京外国語大 学、東京芸術大学、東京商船大学 東京水産大学、お茶の水女子大学 及び学術情報センター)	平成7年9月20日 ～ 9月22日	六大学等に、原則として実 施時期にⅢ種採用でおおむね 8年の経験、Ⅱ種採用でおお むね3年の経験を有する事務 系職員並びにこれらと同等と 認められる者(行政職俸給表 (一)の適用者に限る。)	会計課・総務係 浅田 成一 会計課・出納係 村石 昌昭 施設課・設備係 女屋 高広 学務課・留学生係 中村 一吉 文教育学部・総務係 千葉 久雄	東京商船大学
平成7年度関東・甲信越地区国立学 校等係長研修	平成7年9月26日 ～ 9月29日	① 係長又は係長相当の職に ある者 ② 年齢50歳以下の者 ③ 勤務成績が優秀な者	学務課・教務係長 渋木 正巳 附属図書館・情報システム係長 鈴木 隆雄	文部省及び東京 医科歯科大学・ 東京外国語大学
第30回関東甲信越地区国立大学等 会計事務職員研修	平成7年10月16日 ～ 10月20日	会計事務に従事し、かつ1 年以上の会計事務経験を有す る者	会計課・総務係 浅田 成一 会計課・出納係 丸山 彰英	文部省及び長岡 技術科学大学
平成7年度関東甲信越地区国立学校 事務電算化担当職員A研修	平成7年10月16日 ～ 10月20日	関東B・C地区国立学校で 事務のシステムの導入・維持 管理を担当する職員	会計課・管財係長 斎藤 正男 会計課・用度係 竹下 良久	

○健康診断

事 項	実 施 日 時	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員特別定期健康診断 (第1回)	平成7年9月 26日	自動車運転手	2人	保健管理センター
職員定期健康診断 (第1回)	平成7年10月 16日・17日	全職員。ただし、人間ドックの受診者及び遠隔地勤務者を除く。 本年度から喀痰細胞診を追加した。	193人	保健管理センター

○レクリエーション行事

行 事 名	実 施 日 時	参加者数	内 容 ・ 入 賞 者	実 施 場 所
歌 舞 伎 鑑 賞	平成7年 10月14、15、21、 22、28日	50人	題 名 「俊寛」	国 立 劇 場
職 員 ボーリング大会	平成7年10月23日	45人	優 勝 ウシワカチーム 岡田健一、八重樫 博、芳村紀子 準優勝 LOVE <sup>2</sup> HONEYSチーム 村上恭二、三野博正、佐々木 健 第3位 ダンディースリーチーム 西村光範、女屋高広、村石昌昭	池袋ハタボール



職員ボーリング大会 優勝チーム



準優勝チーム



第3位チーム



○海外渡航

所属・職名	氏名	渡航先国	渡航目的	期間	渡航目的
文教育学部 ・教授	上野浩道	連合王国	EDUCATION THROUGH ARTの研究	7. 9. 1～ 7.10.31	外国出張
理学部 ・助手	市川哲彦	イタリア共和国 スイス連邦	第5回DBPLワークショップ における研究発表・第3回 EDBT夏季特別講習会への 参加、他	7. 9. 2～ 7. 9.17	外国出張
理学部 ・教授	伊藤厚子	イタリア共和国	メスバウア効果応用国際会議 に出席・発表、及びパルマ大 学において研究討論	7. 9. 8～ 7. 9.20	外国出張
理学部 ・助教授	出口哲生	アメリカ合衆国	コロラド大学アプロヴィンツ 教授及びニューヨーク州立大 学マッコイ教授を訪問し研究 連絡	7. 9.10～ 7.10. 8	外国出張
理学部 ・教授	遠山 益	中華人民共和国	プラシノステロイドの生理作 用についての研究発表・討論 及び資料収集	7. 9.20～ 7. 9.29	外国出張
附属中学校 ・教諭	清田淳子	カナダ アメリカ合衆国	平成7年度在外教育研究施設 巡回指導班に参加	7.10. 6～ 7.10.16	外国出張
理学部 ・助教授	小木曾啓示	アメリカ合衆国	「代数多様体の分類」の研究 実施	7.10. 7～ 7.11. 7 (帰国予定)	外国出張
生活科学部 ・教授	利谷信義	インド	アジア社会科学研究協議会連 盟総会出席	7.10.14～ 7.10.22	外国出張
生活科学部 ・助教授	會川義寛	カナダ	THE 1995 TORONTO CON FERENCE OF THE WOR LD ASSOCIATION OF CHI NESE MEDICINE に出席	7.10.19～ 7.10.24	外国出張
理学部 ・教授	福田 豊	中華人民共和国	「機能性金属錯体の合成・構 造・反応に関する諸問題」に ついて、研究交流・資料収集	7.10.24～ 7.11. 2 (帰国予定)	外国出張
理学部 ・助手	森本せつ	イタリア共和国	メスバウア効果応用国際会議 に出席、研究発表会及び討論	7. 9. 8～ 7. 9.20	海外研修

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航目的
文 教 育 学 部 ・ 助 教 授	村 田 眞 弓	フ ラ ン ス 共 和 国	「FÉNELON ÉVÊQUE ET PASTEUR EN SON TEMP S」学会発表及び資料収集	7. 9.12～ 7. 9.21	海外研修
人 文 科 学 研 究 科 ・ 教 授	長 友 和 彦	オーストラリア	大学協定の実施方法について の協議及び講演	7. 9.16～ 7. 9.23	海外研修
理 学 部 ・ 教 授	石 和 貞 男	イ タ リ ア 共 和 国	第14回ヨーロッパショウジョ ウバエ研究会議出席	7. 9.18～ 7. 9.24	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	徳 丸 吉 彦	大 韓 民 国	ユネスコ国際音楽協議会総会 出席	7. 9.30～ 7.10. 4	海外研修
附 属 小 学 校 ・ 教 諭	松 木 正 子	オーストラリア ニュージーランド シンガポール共和国	通信教育受講生に対する学習 上の指導助言及び通信教育の 実態調査	7.10.12～ 7.10.26	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	佐 藤 保	中 華 人 民 共 和 国	中国現代文学に関してノーベ ル財団での資料調査・閲覧及 び各国の中国文学研究者との 研究交流	7.10.13～ 7.10.16	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	徳 丸 吉 彦	ア メ リ カ 合 衆 国	民族音楽会出席	7.10.17～ 7.10.23	海外研修
理 学 部 ・ 助 教 授	今 野 美 智 子	ア メ リ カ 合 衆 国	「蛋白質の構造と機能の關係 の新方向」のシンポジウムに 出席	7.10.19～ 7.10.26	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	相 原 茂	中 華 人 民 共 和 国	中国語視聴覚教材作成のため 資料収集	7.10.19～ 7.10.29	海外研修
文 教 育 学 部 ・ 教 授	片 岡 康 子	ア メ リ カ 合 衆 国	舞踊学会出席及び資料収集	7.10.20～ 7.10.30	海外研修
附 属 中 学 校 ・ 教 諭	佐々木 和 枝	ア メ リ カ 合 衆 国 カ ナ ダ	エネルギー・環境教育海外調 査	7.10.22～ 7.11. 4 (帰国予定)	海外研修
理 学 部 ・ 助 教 授	藤 代 一 成	ア メ リ カ 合 衆 国	IEEE VISUALIZATION' 95 国際会議で論文発表	7.10.29～ 7.11. 5 (帰国予定)	海外研修

# 日 誌

## ◇諸会議

- |  |   |
|--|---|
| <p>9月7日(木) 東京地区国公立大学部課長会議<br/>(於・東京都立大学)</p> <p>11日(月) カリキュラム委員会<br/>国立学校等経理部課長会議(於・<br/>医科歯科大)</p> <p>12日(火) 防災委員会<br/>部局長会議<br/>大学院問題検討特別委員会<br/>主任会議(3学部)</p> <p>13日(水) 教授会(3学部)</p> <p>14日(木) 研究科会議</p> <p>18日(月) 文部省会計職員研修(～10月6日)</p> <p>19日(火) 草津セミナーハウス運営協議会<br/>(～20日 於・草津セミナーハウ<br/>ス)<br/>国際交流委員会留学生専門委員会</p> <p>20日(水) 六大学等事務系中堅職員研修<br/>(～22日 於・東京商船大)<br/>創立120周年記念事業特別委員会<br/>将来構想検討委員会</p> <p>21日(木) 関プロ国立学校等広報・文書研究<br/>協議会(～22日 於・横浜国立大)<br/>計算証明説明会(於・会計検査院)</p> <p>22日(金) 「お茶の水女子大学の現状と課題」<br/>懇談会</p> <p>26日(火) 関プロ国立学校等係長研修<br/>(～29日 於・オリセン)<br/>国立大学図書館協議会防災等災害<br/>時緊急対策調査研究会議及び同<br/>ワーキンググループ会議合同会議<br/>(於・東京大学)</p> <p>27日(水) 部局長会議<br/>大学院問題検討特別委員会<br/>附属学校教育研究委員会</p> <p>28日(木) 評議会</p> <p>10月3日(火) 入試委員会</p> | <p>4日(水) 学生委員会<br/>研究科会議</p> <p>5日(木) 関プロ国立大学等施設部課長会議<br/>(～6日 於・山梨大学)</p> <p>6日(金) 事務連絡会議</p> <p>11日(水) カリキュラム委員会<br/>大学院問題検討特別委員会小委員<br/>会</p> <p>12日(木) 全国国立大学学生部長協議会(～<br/>13日 於・オリセン)</p> <p>13日(金) 関プロ国立大学長会議(於・東京<br/>大学)</p> <p>16日(月) 関プロ国立大学等庶務部課長会議<br/>(於・群馬大学)<br/>関プロ会計事務職員研修(～20日<br/>於・新潟)<br/>国際交流委員会留学生専門委員会<br/>R I 実験室運営委員会<br/>池田摩耶子・重奨学金審査委員会</p> <p>17日(火) 家政学部奨学金審査委員会<br/>部局長会議<br/>大学院問題検討特別委員会<br/>主任会議(3学部)</p> <p>18日(水) 教授会(3学部)</p> <p>19日(木) 22大学理学部長会議(於・KKR<br/>HOTEL TOKYO)<br/>共済事務担当者会議(於・医科歯<br/>科大)</p> <p>20日(金) 全国理学部長会議(於・KKR H<br/>OTEL TOKYO)</p> <p>23日(月) 国立16大学学長懇話会(～24日<br/>於・神戸商船大)<br/>関プロ電算A研修(～31日 於・<br/>東工大)</p> <p>25日(水) 教員試験ガイダンス</p> <p>10月25日(水) 評議会<br/>大学院問題検討特別委員会</p> |
|--|---|

研究科会議

- 26日(木) 関プロ国立大学事務局長会議  
(～27日 於・長岡技科大)
- 27日(金) 文京区内大学と文京区との事務担  
当者協議会及び防災担当者連絡会  
(於・文京区役所)  
国立大学協会第2常置委員会
- 28日(土) 女子大学連盟総会(於・奈良女子  
大)
- 30日(月) 附属学校部長選考委員会

◇行事等

- 7月6日(水) 大学院理学研究科入学試験(～7  
日)  
大学院家政学研究科入学試験
- 9日(土) 公開講座
- 13日(水) 日本語・日本文化研修留学生修了  
式
- 14日(木) 大学院理学・家政学研究科合格発  
表
- 22日(金) 自衛消防隊訓練審査会
- 25日(月) 人間文化研究科入試(～27日)  
人文科学研究科日本語文化専攻  
(社会人学生)願書受付(～29日)
- 26日(火) 職員特別定期健康診断
- 27日(水) 留学生見学旅行(～29日 於・倉  
敷・岡山)
- 29日(金) 卒業式・学位記授与式
- 30日(土) 公開講座
- 10月6日(金) 大学院人間文化研究科合格発表
- 7日(土) 公開講座
- 11日(水) 人文科学研究科(日本語文化専  
攻・社会人)入試(～13日)  
第一回就職ガイダンス
- 14日(土) 公開講座
- 16日(月) 職員定期健康診断(～17日)
- 18日(水) 留学生オリエンテーション  
公務員試験ガイダンス
- 19日(木) 日本語文化専攻(社会人)合格  
発表
- 20日(金) 総合防災訓練
- 21日(土) 公開講座
- 23日(月) 理学部帰国子女特別選抜願書受付  
(～11/17)  
ボウリング大会
- 26日(木) 科学研究費補助金に関する説明会
- 28日(土) 公開講座
- 31日(火) 国際学生寄宿住民説明会(中町出  
張所)